

# 二子ハ耐力面材『あんしん』

## 設計施工資料

### ■ 共通

- ・ 加工、防水紙・外壁材の施工、  
保管、取り扱い …………… P.18

### ■ 大壁仕様 / 木造軸組耐力壁

- ・ 壁倍率 2.5 …………… P.19
- ・ 壁倍率 2.9 …………… P.25
- ・ 壁倍率 2.5/2.9 共通 …………… P.30
- ・ 壁倍率 4.4 …………… P.33
- ・ 壁倍率 5.0 …………… P.37

### ■ 大壁床勝ち仕様 / 木造軸組耐力壁

- ・ 壁倍率 2.5(3尺幅限定) …………… P.41
- ・ 壁倍率 3.2(3尺幅限定) …………… P.45
- ・ 壁倍率 2.5(メータ幅限定) …………… P.49
- ・ 壁倍率 2.8(メータ幅限定) …………… P.53

## 『あんしん』の加工

- 『あんしん』は、集じん丸ノコ、手ノコで切断してください。集じん丸ノコを使用する場合は、集じん機を使用してください。

## 防水紙・外壁材の施工

- 『あんしん』が濡れた場合は、よく乾かしてから防水紙を施工します。
- 『あんしん』の施工後、ステーブル等を用い、すみやかに防水紙を施工してください。
- ステーブルは、「商品名：T3-6M」肩幅 12mm 足長さ 6mm(マックス株)の使用をお勧めします。

「T3-6M」の適合タッカ(マックス株)

充電式タッカ TG-Z4
ハンマタッカ TH-V2

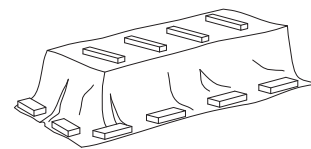
- 『あんしん』にはくぎ保持力、ねじ保持力を期待できません。胴縁等を取り付ける場合には、『あんしん』だけでは取り付けず、『あんしん』を介して軸組に取り付けてください。

- 外壁材にモエンサイディングを使用する場合は、以下を参考にして、標準施工に従ってください。

横張り金具施工	○標準施工
横張り通気金具施工	○標準施工
縦張り(5mm)金具施工	○標準施工
縦張り通気金具施工	×
くぎ打ち施工	○標準施工

## 保管上の注意

- 屋内の硬く平らな場所に保管し、傷、汚れを防ぐため、最上段の『あんしん』は裏返してください。
- 直接床に置かないで、パレットまたは敷板(台木間隔 500mm 以下)の上に水平に積み重ねてください。直接、台木の上に積まないでください。(波反りするおそれがあります。)
- やむを得ず屋外に保管する場合は、防水シートを掛けて雨に濡れないようにしてください。



## 取り扱い上の注意

- 取り扱い時は、軍手等の保護手袋を着用してください。
- 切断する際は、保護メガネ、集じんマスク等の保護具を着用してください。
- 作業後は粉じんを払い落とし、手洗い、うがいを励行してください。

# 大壁仕様 壁倍率2.5

単位：mm

認定番号		FRM-0233
軸 組 仕 様	柱、土台、梁、胴差および桁	105×105 以上
	間柱(幅×奥行き)	30×60 以上
	継手間柱(幅×奥行き)	45×60 以上
	柱の間隔	-
	柱と間柱の間隔	500 以下
	継手間柱と間柱の間隔	500 以下
	上部横架材と下部横架材の内法寸法	-
当該耐力壁に使用できる『あんしん』		厚さ 9
		DL9F1
		DL9F1K
		DL9F2
		DL9F2K
		DM9F1
		DM9F2
		-
		-
		-
留 め 付 け 仕 様	くぎ	N50
	間隔(外周部)	125 以下
	間隔(中通り部)	200 以下
	縁端距離	15 程度
	面材のかかり代	-

※大壁仕様 壁倍率2.5は、壁の高さ方向に継手(胴つなぎ45×45以上)を設けることができます。

# ニチハ耐力面材『あんしん』

大壁仕様  
壁倍率2.5

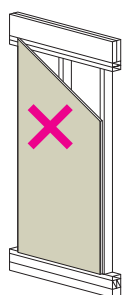
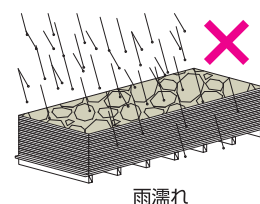
認定番号	面材くぎ	くぎ間隔	縁端距離	柱、横架材	間柱	継手間柱	壁倍率
FRM-0233	N50	外周125以下 中通200以下	15 程度	105×105 以上	30×60 以上	45×60 以上	2.5

## 適用範囲

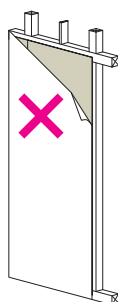
- 建築基準法施行令第 40 条～第 49 条(ただし、第 48 条を除く)に準拠した木造軸組
- 当該耐力壁を建築基準法施行令第 46 条第 4 項表 1 に掲げる壁もしくは筋かいと併用する場合は、5 を限度としてそれぞれの倍率を加算できます。

## 禁止事項

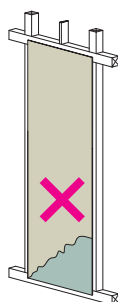
- 枠組壁工法の耐力壁には使用できません。
- 透湿性がない防水紙を使用しないでください。
- 保管中は『あんしん』を雨に濡らさないでください。
- 濡れている『あんしん』を施工したり、濡れている『あんしん』に防水紙を施工しないでください。
- 『あんしん』を以下の用途に使用しないでください。  
仕上げ材、塗装下地材、タイル下地材、モルタル下地材(直塗り)、内装下地耐力面材
- 『あんしん』に直接、エアコン室外機や給湯器等の重い物を取り付けしないでください。  
(重い物は躯体に取り付けてください。)



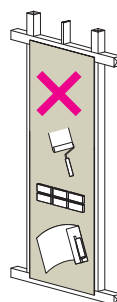
枠組壁工法



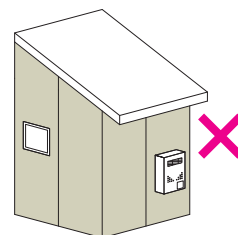
透湿性なし  
防水紙



濡れている  
『あんしん』施工



塗装、タイル、  
モルタル下地材



重い物

## 注意事項

- 『あんしん』の取り付けには、**鉄丸くぎ N50(JIS A 5508:2005)**を用いてください。
- 『あんしん』の表面には、くぎの種類、くぎ間隔及びくぎ打ち線が印字されています。
- 『あんしん』は防水紙等で有効に防水されている部分に使用してください。
- 耐力壁とする部位には、開口を設けないようにしてください。直径 100 ~ 150mm 程度の貫通孔、300mm 角以下の換気扇用の孔<sup>※2</sup>は、一般には、開口に該当しないとされていますが、判断については、あらかじめ指定確認検査機関等に確認してください。  
※2 孔の周囲に継手間柱と同じ断面寸法の木材を組み、N50 を用いて、孔の周囲 @125mm 以下で打ち付けた場合。
- 『あんしん』と外壁材に通気層を設け、壁の水分・湿気を排出させる「外壁通気構法」を採用してください。  
※水分・湿気が滞留すると、『あんしん』の性能が損なわれるおそれがあります。
- 『あんしん』の保管及び取り扱い上の注意事項については、P18 をご確認ください。

新  
築

屋  
外  
用

『  
あん  
しん  
』

商  
品  
特  
長

商  
品  
案  
内

設  
計  
施  
工  
資  
料

共  
通

大壁仕様  
壁倍率  
2.5

大壁仕様  
壁倍率  
2.9

大壁仕様  
壁倍率  
4.4

大壁仕様  
壁倍率  
5.0

大壁勝ち仕様  
壁倍率  
2.5  
(3尺間隔定)

大壁勝ち仕様  
壁倍率  
3.2  
(3尺間隔定)

大壁勝ち仕様  
壁倍率  
2.5  
(2.5尺間隔定)

大壁勝ち仕様  
壁倍率  
2.8  
(2.5尺間隔定)

# ニチハ耐力面材『あんしん』

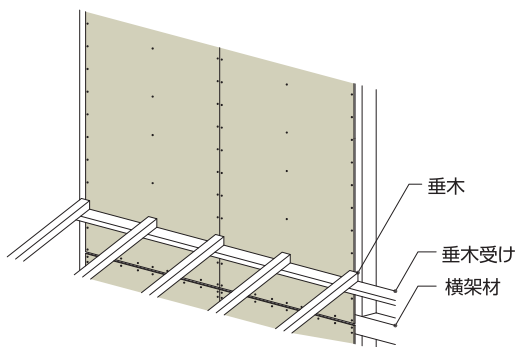
大壁仕様  
壁倍率2.5

認定番号	面材くぎ	くぎ間隔	縁端距離	柱、横架材	間柱	継手間柱	壁倍率
FRM-0233	N50	外周125以下 中通200以下	15 程度	105×105 以上	30×60 以上	45×60 以上	2.5

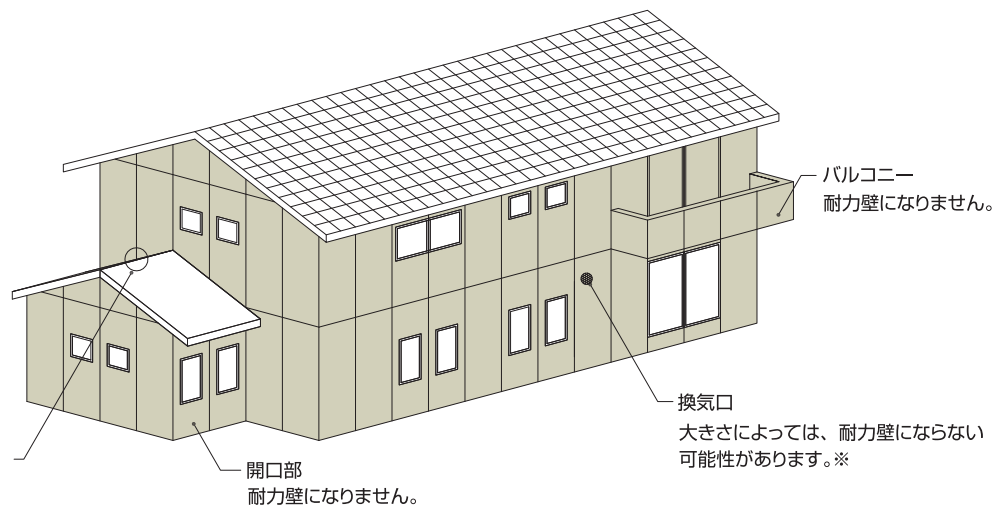
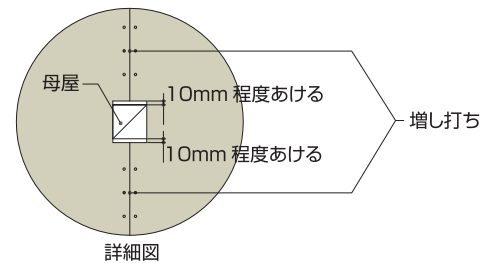
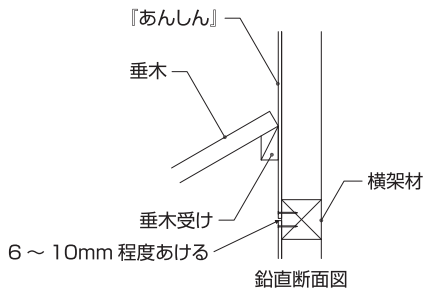
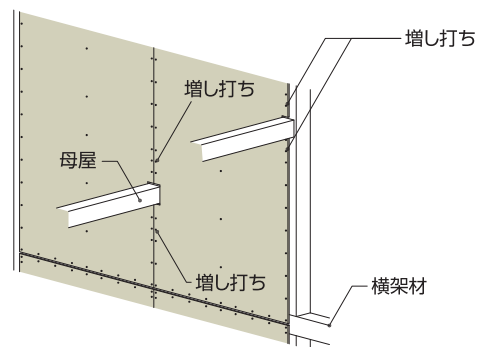
## 注意事項

- 耐力壁とする部位、『あんしん』の割付については、事前に確認してください。
- 耐力壁とする場合、下屋根・軒裏を施工する前に『あんしん』を取り付けます。
- 『あんしん』の高さ方向の継手は、横架材に設け、6～10mm程度すき間をあけてください。
- 『あんしん』と棟木・母屋との取り合いは、10mm程度の間隙をあけ『あんしん』を切り欠いてください。(切り欠き部のN50は、切り欠きによって打てなくなった本数以上を近傍に増し打ちしてください。)
- 木材、合板等の調整材で外面を合わせることができます。調整材は鉄丸くぎ等を使用して柱、間柱に確実に取り付けてください。

下屋根・軒裏



棟木・母屋との取り合い(増し打ち例)



※あらかじめ指定確認検査機関等に確認してください。

# ニチハ耐力面材『あんしん』

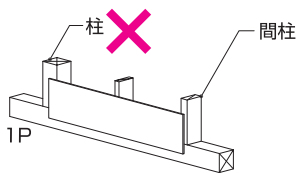
大壁仕様  
壁倍率2.5

認定番号	面材くぎ	くぎ間隔	縁端距離	柱、横架材	間柱	継手間柱	壁倍率
FRM-0233	N50	外周125以下 中通200以下	15 程度	105×105 以上	30×60 以上	45×60 以上	2.5

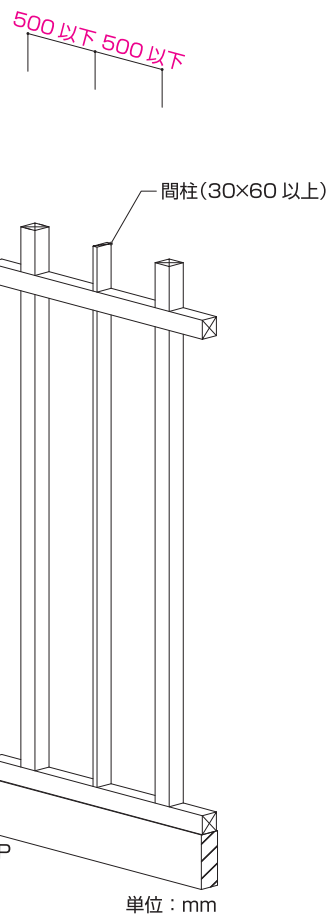
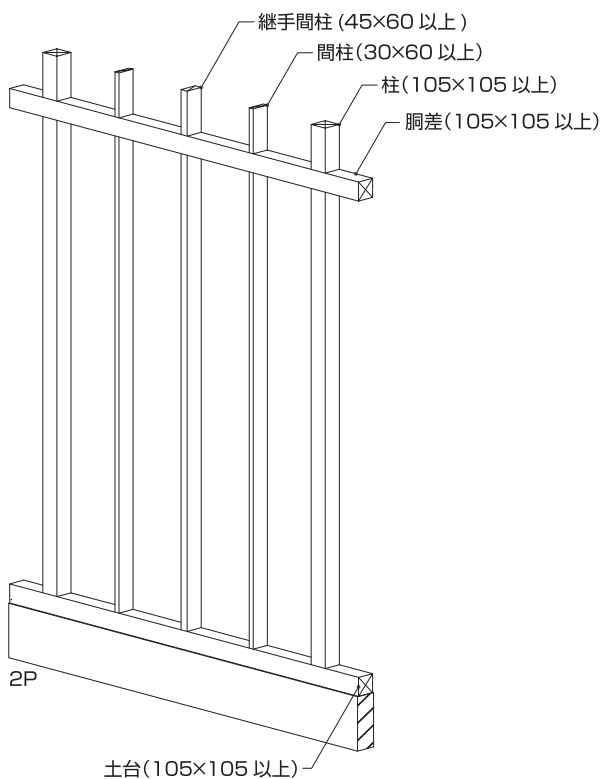
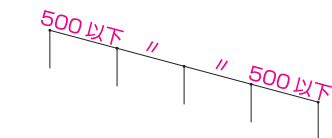
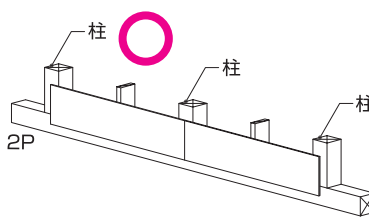
## 軸組材等の仕様

- 柱、土台、梁、胴差及び桁の断面寸法は 105×105mm 以上としてください。
- 間柱の断面寸法は見付幅 30×奥行き 60mm 以上としてください。
- 『あんしん』を継ぐ間柱(以下「継手間柱」という。)の断面寸法は見付幅 45×奥行き 60mm 以上としてください。
- 耐力壁の両端は柱としてください。(端部を間柱とすると耐力壁になりません。)
- 柱の断面寸法が異なる場合 木材、合板等の調整材で外面を合わせることができます。調整材は鉄丸くぎ等を使用して柱、間柱に確実に取り付けてください。

耐力壁端部を間柱とした場合



継手間柱を柱とした場合



新築

屋外用

『あんしん』

商品特長

商品案内

設計施工資料

共通

大壁仕様  
壁倍率 2.5

大壁仕様  
壁倍率 2.9

大壁仕様  
壁倍率 4.4

大壁仕様  
壁倍率 5.0

大壁勝ち仕様  
壁倍率 2.5  
(3尺幅限定)

大壁勝ち仕様  
壁倍率 3.2  
(3尺幅限定)

大壁勝ち仕様  
壁倍率 2.5  
(2.1尺幅限定)

大壁勝ち仕様  
壁倍率 2.8  
(2.1尺幅限定)

# ニチハ耐力面材『あんしん』

大壁仕様  
壁倍率2.5

認定番号	面材くぎ	くぎ間隔	縁端距離	柱、横架材	間柱	継手間柱	壁倍率
FRM-0233	N50	外周125以下 中通200以下	15 程度	105×105 以上	30×60 以上	45×60 以上	2.5

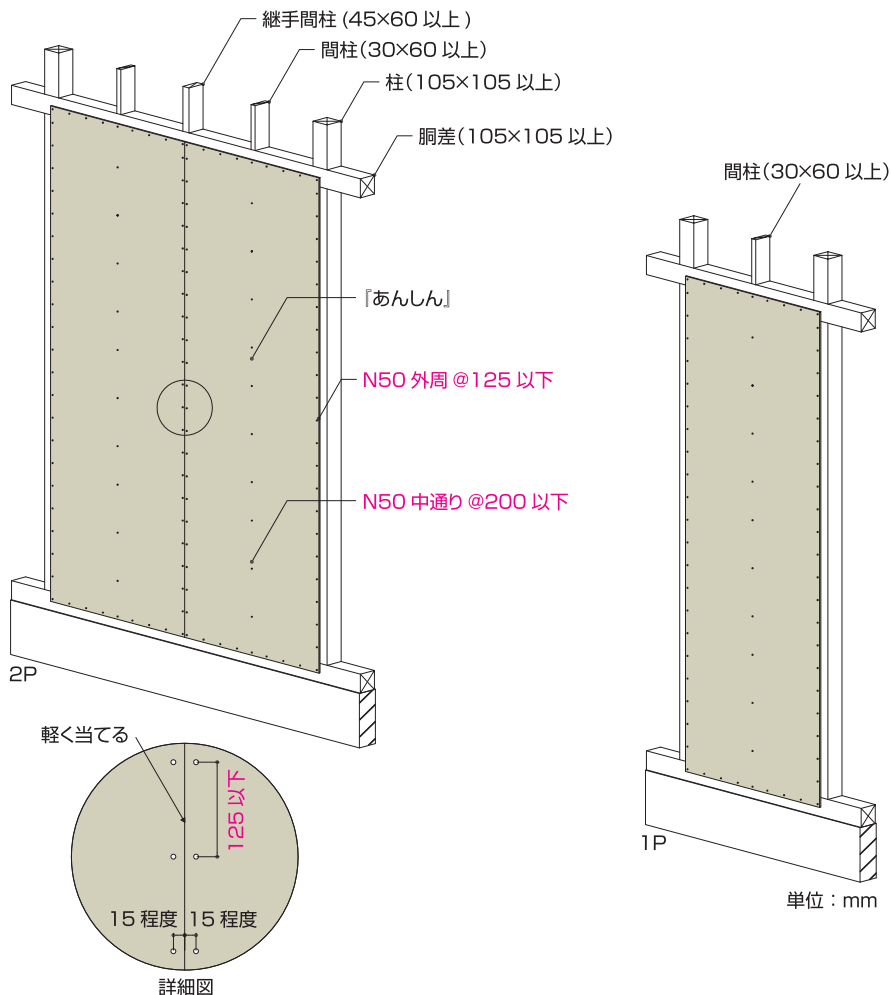
## 『あんしん』の留め付け

- 『あんしん』の表面（くぎ打ち線印字面）を屋外に向けて使用します。取り付けには、**N50を用い、外周部 @125mm 以下、中通り部 @200mm 以下**で、柱、土台、梁、間柱等に打ち付けてください。
- くぎの縁端距離（『あんしん』端部からのくぎ打ち位置）は15mm程度としてください。
- N50は、「商品名：FC50V8(N50) JIS 適合品 N50 くぎ」、「商品名：FCP50V8(N50) JIS 適合品 N50 くぎ(マックス棟)」をお薦めします。

「FC50V8(N50)」の適合くぎ打機(マックス棟)

HN-50N4(D)	CN-565CG
HN-65N4(D)	CN-665S2

- 必ず下地材がある部分にくぎ打ちしてください。下地材がない部分にくぎが『あんしん』を貫通するおそれがあります。
- くぎの打ち込み不足、打ち込み過ぎに注意してください。くぎ打機を使用する場合、軸組材によりくぎ頭の打ち込み深さが変わりますので、事前にくぎ打機を調整してください。（くぎを打ち込み過ぎると『あんしん』の性能が損なわれます。）



- 『あんしん』の加工及び防水紙・外壁材の施工については、P18 をご確認ください。

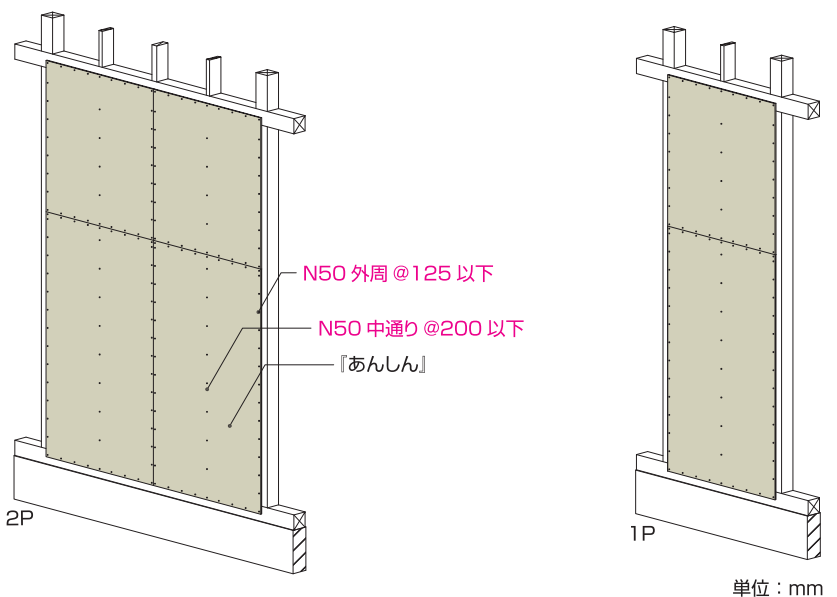
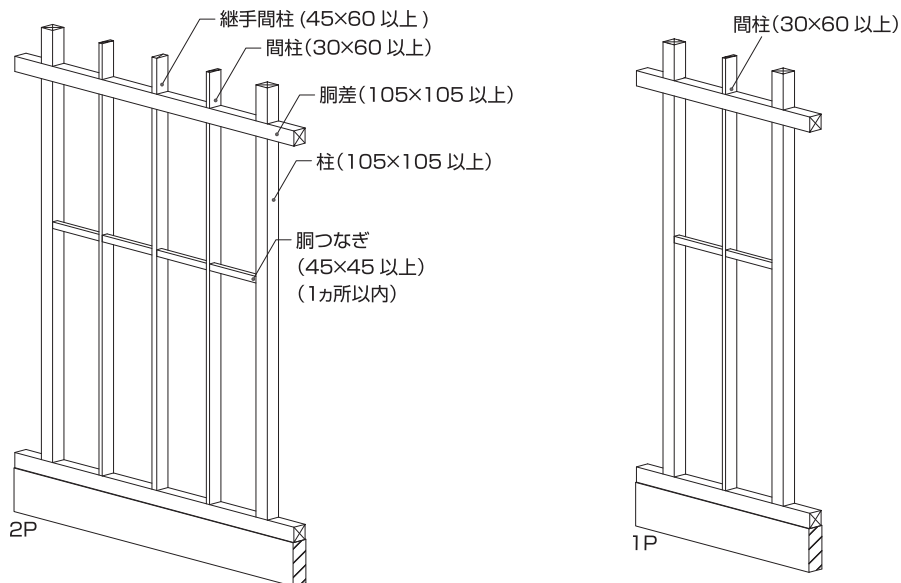
# 二手八耐力面材『あんしん』

大壁仕様  
壁倍率2.5

認定番号	面材くぎ	くぎ間隔	縁端距離	柱、横架材	間柱	継手間柱	壁倍率
FRM-0233	N50	外周125以下 中通200以下	15 程度	105×105 以上	30×60 以上	45×60 以上	2.5

## 『あんしん』の留め付け(壁の高さ方向に継手を設ける場合)

● 胴つなぎの断面寸法は 45×45mm 以上としてください。



※施工高さが3030mmまでは「大版張り」または「胴つなぎ」ありのどちらでも施工できます。  
 ※施工高さが3030mmを超える場合には「胴つなぎ」ありの方法で施工してください。

### <注意事項>

※大壁仕様 壁倍率2.5以外の仕様は壁の高さ方向に継手を設けしないでください。(継手を設けると、耐力壁になりません。)

新  
築

屋  
外  
用

『  
あん  
しん  
』

商  
品  
特  
長

商  
品  
案  
内

設  
計  
施  
工  
資  
料

共  
通

大壁仕様  
壁倍率  
2.5

大壁仕様  
壁倍率  
2.9

大壁仕様  
壁倍率  
4.4

大壁仕様  
壁倍率  
5.0

大壁勝ち仕様  
壁倍率  
2.5  
(3尺限定)

大壁勝ち仕様  
壁倍率  
3.2  
(3尺限定)

大壁勝ち仕様  
壁倍率  
2.5  
(2.1尺限定)

大壁勝ち仕様  
壁倍率  
2.8  
(2.1尺限定)



# 大壁仕様 壁倍率2.9

単位：mm

認定番号		FRM-0173
軸 組 仕 様	柱、土台、梁、胴差および桁	105×105 以上
	間柱(幅×奥行き)	30×60 以上
	継手間柱(幅×奥行き)	45×60 以上
	柱の間隔	-
	柱と間柱の間隔	500 以下
	継手間柱と間柱の間隔	500 以下
	上部横架材と下部横架材の内法寸法	-
当該耐力壁に使用できる『あんしん』		厚さ 9
		DL9F1
		DL9F1K
		DL9F2
		DL9F2K
		DM9F1
		DM9F2
		DA9Y
		DB9Y
		-
-		
留 め 付 け 仕 様	くぎ	N50
	間隔(外周部)	100 以下
	間隔(中通り部)	200 以下
	縁端距離	15 程度
	面材のかかり代	-

# 二子ハ耐力面材『あんしん』

大壁仕様  
壁倍率2.9

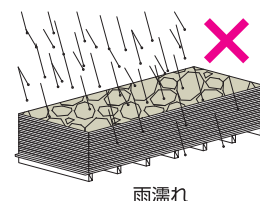
認定番号	面材くぎ	くぎ間隔	縁端距離	柱、横架材	間柱	継手間柱	壁倍率
FRM-0173	N50	外周100以下 中通200以下	15 程度	105×105 以上	30×60 以上	45×60 以上	2.9

## 適用範囲

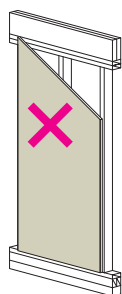
- 建築基準法施行令第 40 条～第 49 条(ただし、第 48 条を除く)に準拠した木造軸組
- 当該耐力壁を建築基準法施行令第 46 条第 4 項表 1 に掲げる壁もしくは筋かいと併用する場合は、5 を限度としてそれぞれの倍率を加算できます。

## 禁止事項

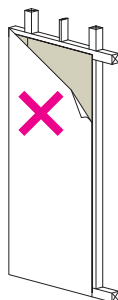
- 枠組壁工法の耐力壁には使用できません。
- 透湿性がない防水紙を使用しないでください。
- 保管中は『あんしん』を雨に濡らさないでください。
- 濡れている『あんしん』を施工したり、濡れている『あんしん』に防水紙を施工しないでください。
- 『あんしん』を以下の用途に使用しないでください。  
仕上げ材、塗装下地材、タイル下地材、モルタル下地材(直塗り)、内装下地耐力面材
- 『あんしん』に直接、エアコン室外機や給湯器等の重い物を取り付けしないでください。  
(重い物は躯体に取り付けてください。)



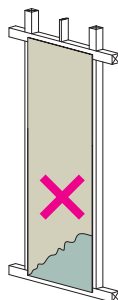
雨濡れ



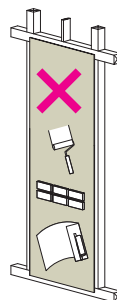
枠組壁工法



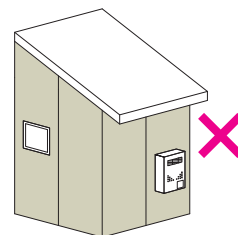
透湿性なし  
防水紙



濡れている  
『あんしん』施工



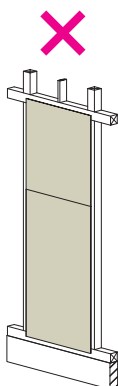
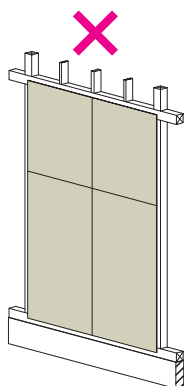
塗装、タイル、  
モルタル下地材



重い物

## 注意事項

- 『あんしん』の取り付けには、[鉄丸くぎ N50 \(JIS A 5508:2005\)](#) を用いてください。
- 『あんしん』の表面には、くぎの種類、くぎ間隔及びくぎ打ち線が印字されています。
- 『あんしん』は防水紙等で有効に防水されている部分に使用してください。
- 耐力壁とする部位には、開口を設けないようにしてください。直径 100 ~ 150mm 程度の貫通孔、300mm 角以下の換気扇用の孔<sup>\*2</sup>は、一般には、開口に該当しないとされていますが、判断については、あらかじめ指定確認検査機関等に確認してください。  
\*2 孔の周囲に継手間柱と同じ断面寸法の木材を組み、N50 を用いて、孔の周囲 @100mm 以下で打ち付けた場合。
- 『あんしん』と外壁材に通気層を設け、壁の水分・湿気を排出させる外壁通気構法を採用してください。  
※水分・湿気が滞留すると、『あんしん』の性能が損なわれるおそれがあります。
- 壁倍率 2.9 は壁の高さ方向に継手を設けしないでください。(下図のように継手を設けると、耐力壁になりません。)



- 『あんしん』の保管及び取り扱い上の注意事項については、P18 をご確認ください。

新  
築

屋  
外  
用

『  
あん  
しん  
』

商  
品  
特  
長

商  
品  
案  
内

設  
計  
施  
工  
資  
料

共  
通

大壁仕様  
壁倍率  
2.5

大壁仕様  
壁倍率  
2.9

大壁仕様  
壁倍率  
4.4

大壁仕様  
壁倍率  
5.0

大壁勝ち仕様  
壁倍率  
2.5 (3尺間定)

大壁勝ち仕様  
壁倍率  
3.2 (3尺間定)

大壁勝ち仕様  
壁倍率  
2.5 (2.5尺間定)

大壁勝ち仕様  
壁倍率  
2.8 (2.5尺間定)

大壁勝ち仕様  
壁倍率  
2.8 (2.5尺間定)

大壁勝ち仕様  
壁倍率  
2.8 (2.5尺間定)

26

# ニチハ耐力面材『あんしん』

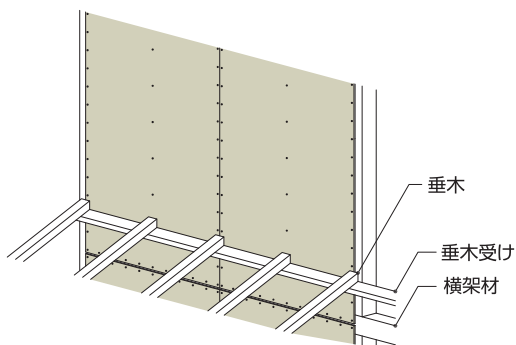
大壁仕様  
壁倍率2.9

認定番号	面材くぎ	くぎ間隔	縁端距離	柱、横架材	間柱	継手間柱	壁倍率
FRM-0173	N50	外周100以下 中通200以下	15 程度	105×105 以上	30×60 以上	45×60 以上	2.9

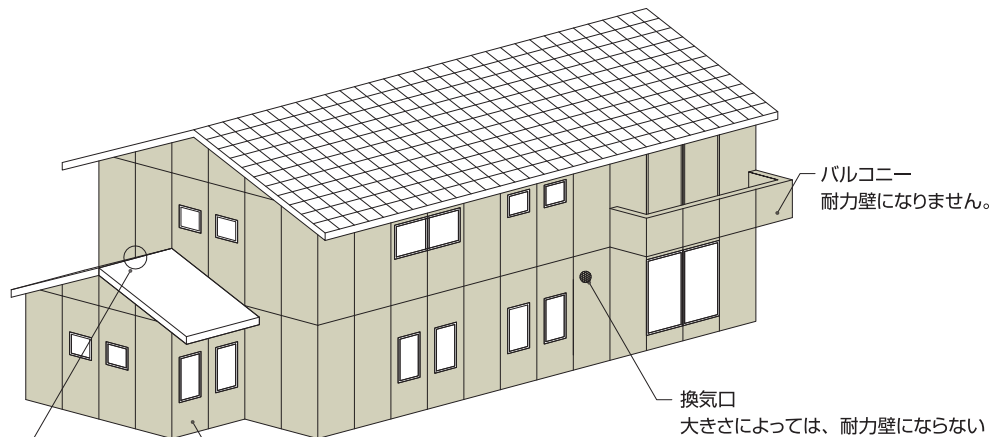
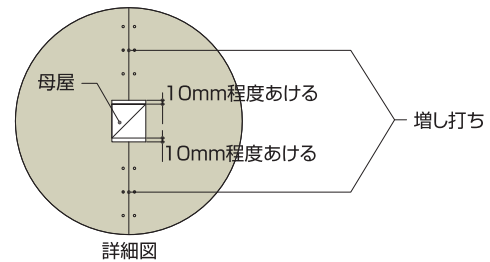
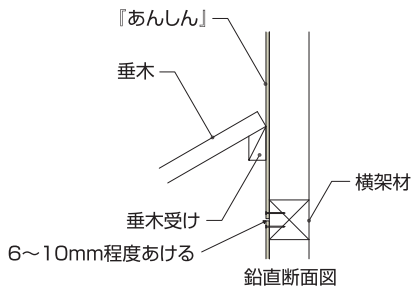
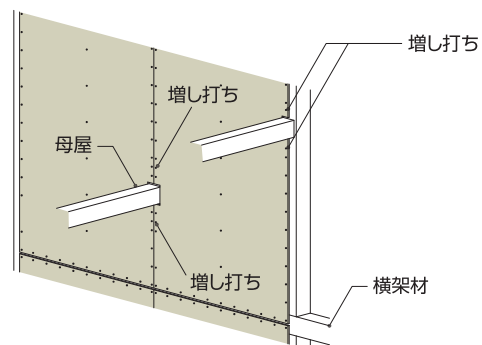
## 注意事項

- 耐力壁とする部位、『あんしん』の割付については、事前に確認してください。
- 耐力壁とする場合、下屋根・軒裏を施工する前に『あんしん』を取り付けます。
- 『あんしん』の高さ方向の継手は、横架材に設け、6～10mm程度すき間をあけてください。
- 『あんしん』と棟木・母屋との取り合いは、10mm程度の間隙をあけ『あんしん』を切り欠いてください。(切り欠き部のN50は、切り欠きによって打てなくなった本数以上を近傍に増し打ちしてください。)
- 木材、合板等の調整材で外面を合わせることができます。調整材は鉄丸くぎ等を使用して柱、間柱に確実に取り付けてください。

下屋根・軒裏



棟木・母屋との取り合い (増し打ち例)



『あんしん』と棟木・母屋との取り合い部位によっては、耐力壁にならない可能性があります。※

※あらかじめ指定確認検査機関等に確認してください。

# 二手八耐力面材『あんしん』

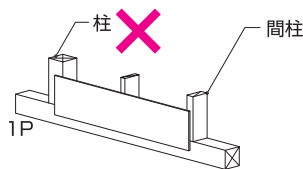
大壁仕様  
壁倍率2.9

認定番号	面材くぎ	くぎ間隔	縁端距離	柱、横架材	間柱	継手間柱	壁倍率
FRM-0173	N50	外周100以下 中通200以下	15 程度	105×105 以上	30×60 以上	45×60 以上	2.9

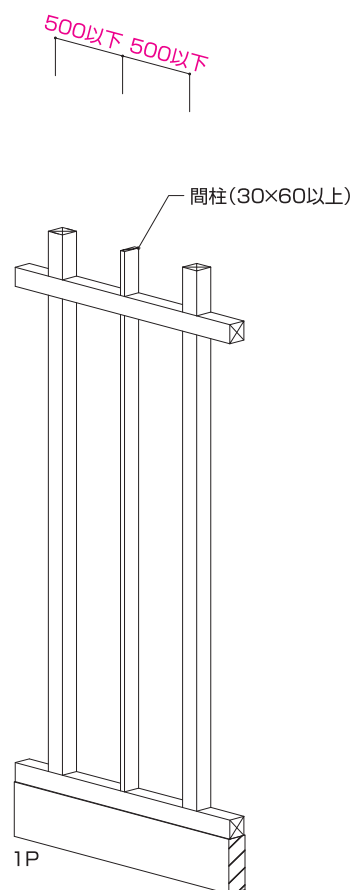
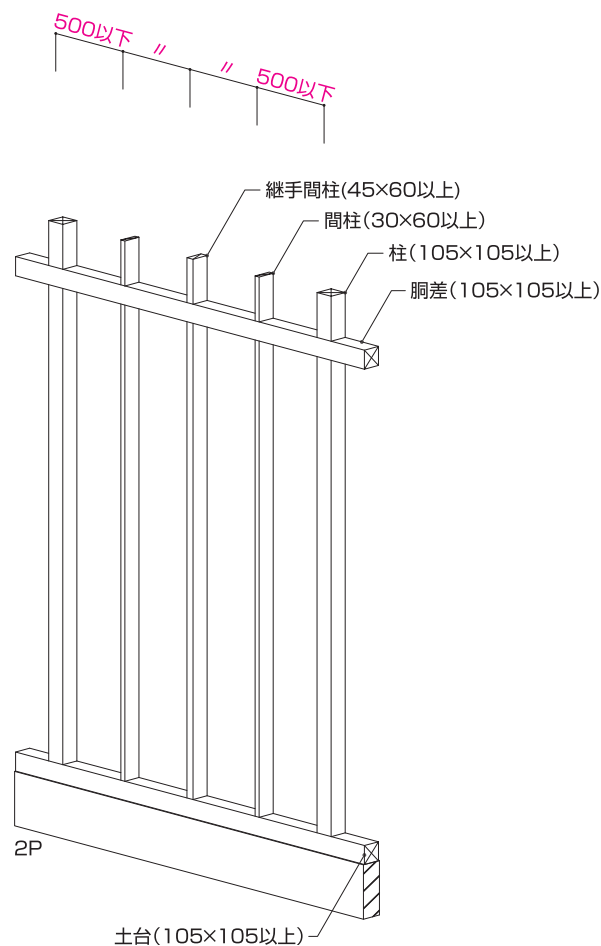
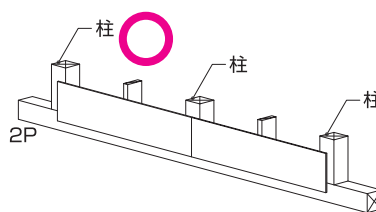
## 軸組材等の仕様

- 柱、土台、梁、胴差及び桁の断面寸法は 105×105mm 以上としてください。
- 間柱の断面寸法は見付幅 30×奥行き 60mm 以上としてください。
- 『あんしん』を継ぐ間柱(以下「継手間柱」という。)の断面寸法は見付幅 45×奥行き 60mm 以上としてください。
- 耐力壁の両端は柱としてください。(端部を間柱とすると耐力壁になりません。)
- 柱の断面寸法が異なる場合 木材、合板等の調整材で外面を合わせることができます。調整材は鉄丸くぎ等を使用して柱、間柱に確実に取り付けてください。

耐力壁端部を間柱とした場合



継手間柱を柱とした場合



単位:mm

新築

屋外用

『あんしん』

商品特長

商品案内

設計施工資料

共通

大壁仕様  
壁倍率 2.5

大壁仕様  
壁倍率 2.9

大壁仕様  
壁倍率 4.4

大壁仕様  
壁倍率 5.0

大壁勝ち仕様  
壁倍率 2.5  
(3尺幅限定)

大壁勝ち仕様  
壁倍率 3.2  
(3尺幅限定)

大壁勝ち仕様  
壁倍率 2.5  
(2.1m幅限定)

大壁勝ち仕様  
壁倍率 2.8  
(2.1m幅限定)

# ニチハ耐力面材『あんしん』

大壁仕様  
壁倍率2.9

認定番号	面材くぎ	くぎ間隔	縁端距離	柱、横架材	間柱	継手間柱	壁倍率
FRM-0173	N50	外周100以下 中通200以下	15 程度	105×105 以上	30×60 以上	45×60 以上	2.9

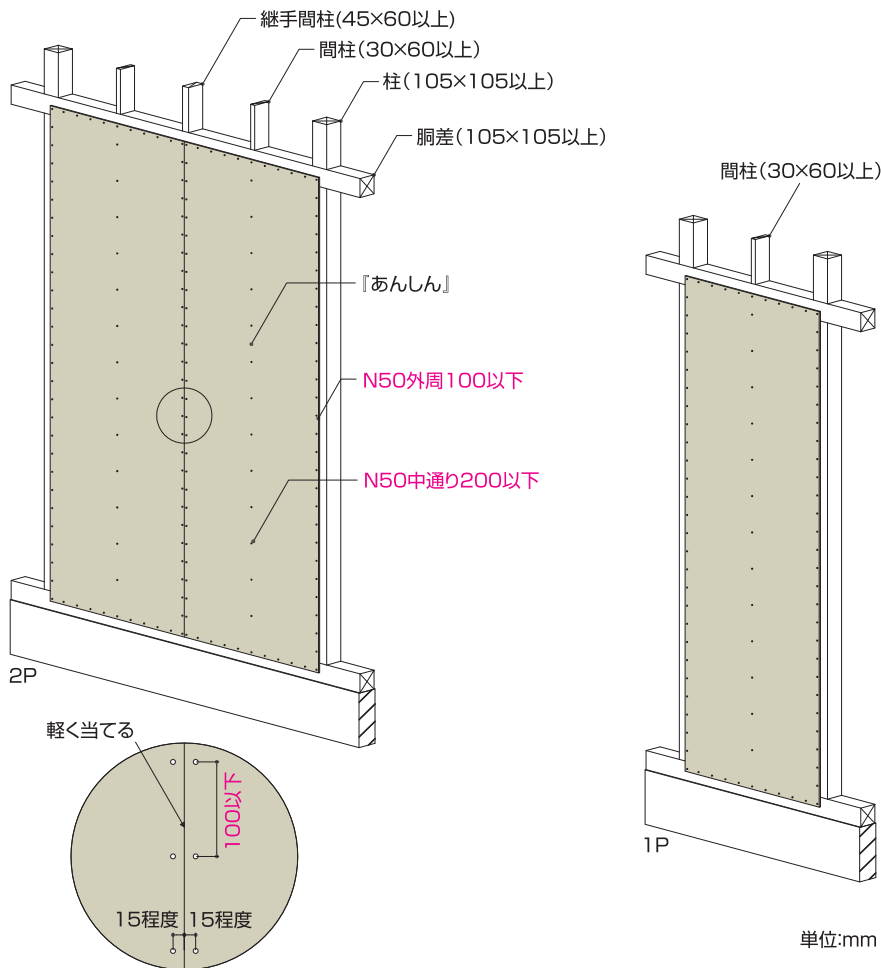
## 『あんしん』の留め付け

- 『あんしん』の表面（くぎ打ち線印字面）を屋外に向けて使用します。取り付けには、**N50を用い、外周部 @100mm 以下、中通り部 @200mm 以下**で、柱、土台、梁、間柱等に打ち付けてください。
- くぎの縁端距離（『あんしん』端部からのくぎ打ち位置）は15mm程度としてください。
- N50は、「商品名：FC50V8(N50)」JIS適合品N50くぎ、「商品名：FCP50V8(N50)」JIS適合品N50くぎ（マックス楯）をお薦めします。

「FC50V8(N50)」の適合くぎ打機（マックス楯）

HN-50N4(D)	CN-565CG
HN-65N4(D)	CN-665S2

- 必ず下地材がある部分にくぎ打ちしてください。下地材がない部分にくぎが『あんしん』を貫通するおそれがあります。
- くぎの打ち込み不足、打ち込み過ぎに注意してください。くぎ打機を使用する場合、軸組材によりくぎ頭の打ち込み深さが変わりますので、事前にくぎ打機を調整してください。（くぎを打ち込み過ぎると『あんしん』の性能が損なわれます。）

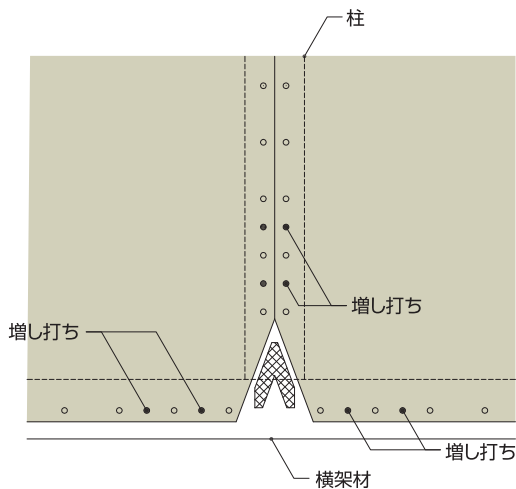


- 『あんしん』の加工及び防水紙・外壁材の施工については、P18をご確認ください。

## 参考図（接合金物と『あんしん』の取り合い）

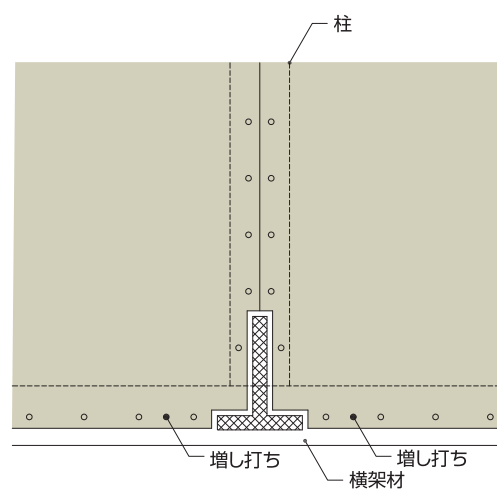
### 山形プレート（増し打ち例）

- 山形プレートに干渉しないように、『あんしん』を切り欠いてください。
- 切り欠き部の N50 は、切り欠きによって打てなくなった本数以上を近傍に増し打ちしてください。



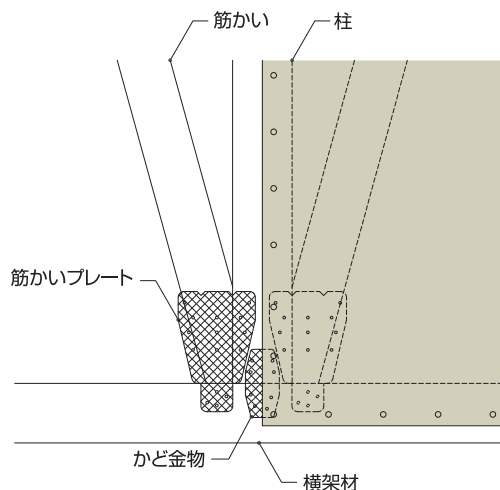
### かど金物（増し打ち例）

- かど金物に干渉しないように、『あんしん』を切り欠いてください。
- 切り欠き部の N50 は、切り欠きによって打てなくなった本数以上を近傍に増し打ちしてください。



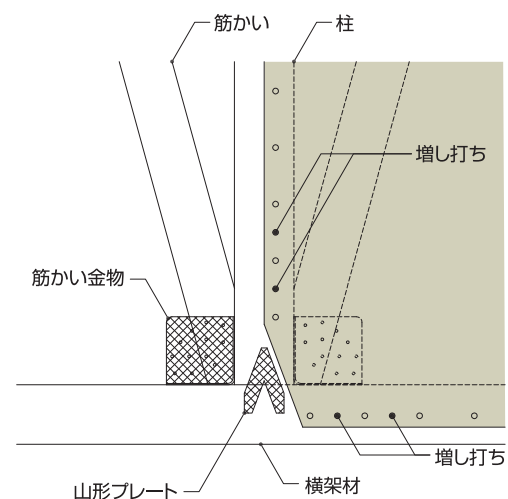
### 筋かいプレート

- 筋かいプレートは、『あんしん』に干渉しないように、板厚が薄く、エンボス加工によりビス頭が表面に出張らないものを使用します。
- 筋かいプレートの上から『あんしん』を施工します。
- 筋かいプレートの上の『あんしん』に割れが生じた場合には、プレートがない位置に打ち直してください。



### 筋かい金物（増し打ち例）

- 筋かい金物は、『あんしん』に干渉しないように、柱内に納まるものを使用してください。
- 山形プレート、かど金物(T型、L型)が干渉しないように、『あんしん』を切り欠いてください。
- 切り欠き部の N50 は、切り欠きによって打てなくなった本数以上を近傍に増し打ちしてください。

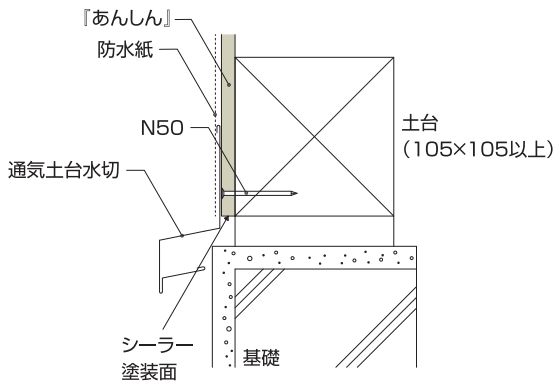


本納まりはあくまで参考例です。施工方法は、あらかじめ指定確認検査機関などへご確認ください。

## 標準施工図（単位：mm）

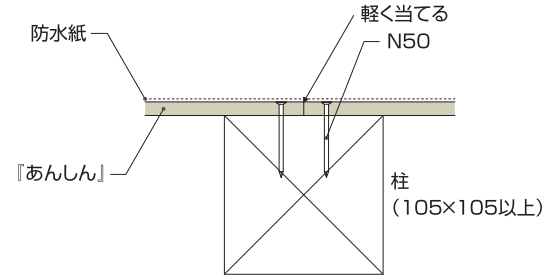
### 土台部

- 『あんしん』は短辺小口をシーラーで塗装しています。シーラー塗装がある（切断しない）短辺小口を下に向けてください。
- 『あんしん』を基礎に埋め込んだり、基礎に接触させないでください。

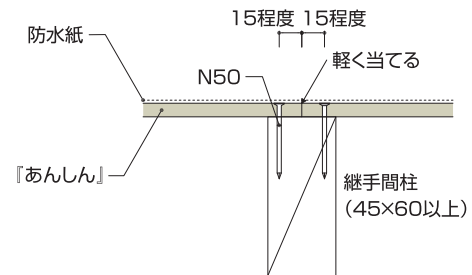


### 左右接合部

- 『あんしん』の継手は軽く当ててください。

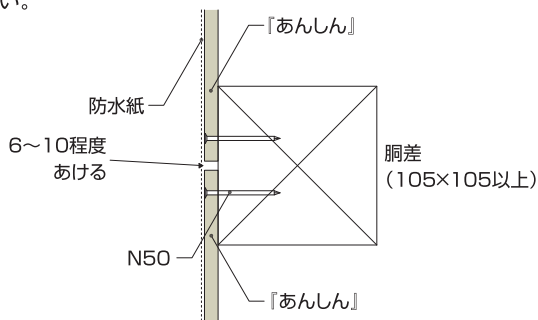


- N50 の縁端距離は 15mm 程度とし、継手間柱に確実に打ち付けてください。



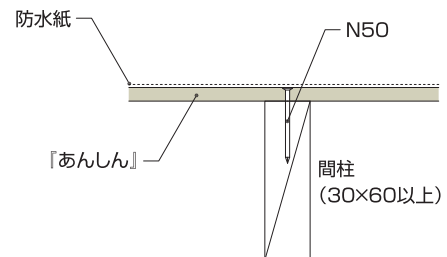
### 胴差、梁部

- 『あんしん』の継手は 6～10mm 程度すき間をあけてください。

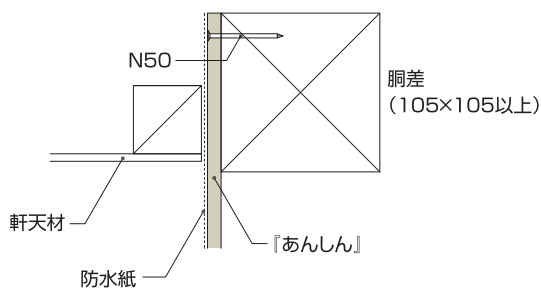


### 間柱部

- N50 は間柱に確実に打ち付けてください。

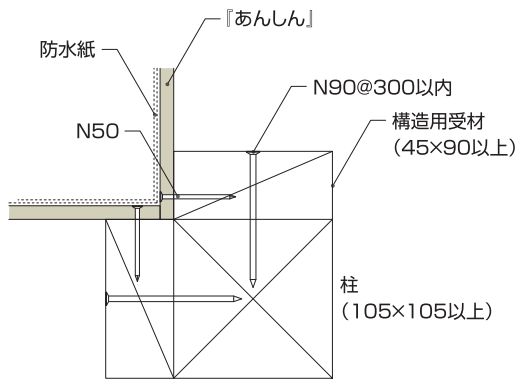


### 軒裏部（軒裏部見切縁から排気する場合）



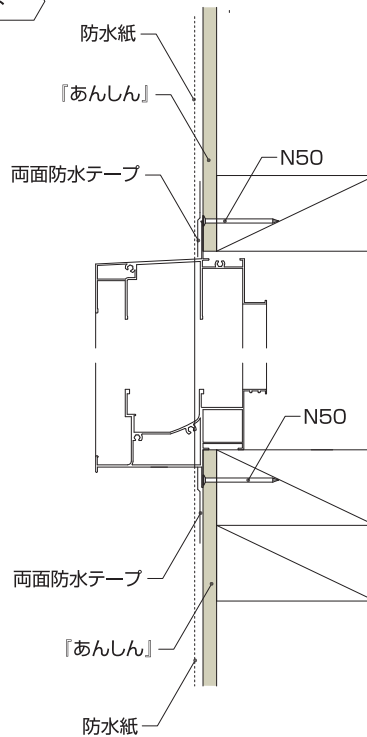
## 標準施工図 (単位：mm)

入隅部

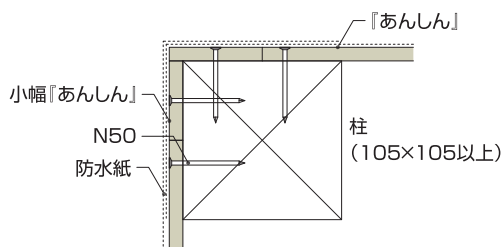


○ 構造用受材の断面寸法、柱への打ち付け方法は、木造住宅建築確認申請用の構造標準納まり図(財)日本住宅・木材技術センター)を参考にしております。判断については、あらかじめ指定確認検査機関等に確認してください。

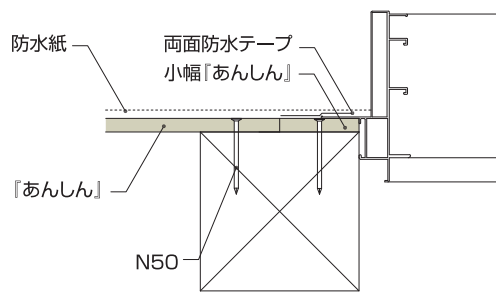
開口部上下



出隅部



開口部左右



本納まりはあくまで参考例です。施工方法は、あらかじめ指定確認検査機関などへご確認ください。



# 大壁仕様 壁倍率4.4

単位：mm

認定番号		FRM-0458
軸 組 仕 様	柱、土台、梁、胴差および桁	105×105 以上
	間柱(幅×奥行き)	30×105 以上
	継手間柱(幅×奥行き)	-
	柱の間隔	910
	柱と間柱の間隔	455
	継手間柱と間柱の間隔	-
	上部横架材と下部横架材の内法寸法	2,315 以上 2,880 以下
当該耐力壁に使用できる『あんしん』		厚さ 9
		-
		-
		-
		-
		-
		-
		-
		DL9V1K
		DL9V2K
留 め 付 け 仕 様	くぎ	N65 または NZ65
	間隔(外周部)	75 以下
	間隔(中通り部)	200 以下
	縁端距離	25±3
	面材のかかり代	柱、梁、胴差 及び桁に 50mm 以上

# 二子ハ耐力面材『あんしん』

大壁仕様  
壁倍率4.4

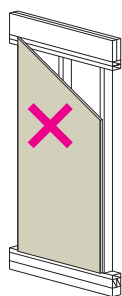
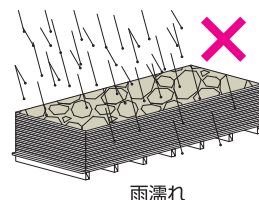
認定番号	面材くぎ	くぎ間隔	縁端距離	柱、横架材	間柱	壁倍率
FRM-0458	N65 NZ65	外周75以下 中通200以下	25±3	105×105 以上	30×105 以上	4.4

## 適用範囲

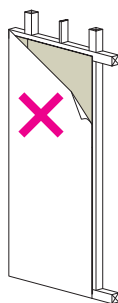
- 建築基準法施行令第40条～第49条(ただし、第48条を除く)に準拠した木造軸組
- 当該耐力壁を建築基準法施行令第46条第4項表1に掲げる壁もしくは筋かいと併用する場合は、5を限度としてそれぞれの倍率を加算できます。

## 禁止事項

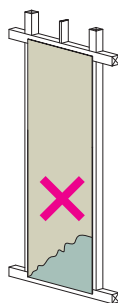
- 枠組壁工法の耐力壁には使用できません。
- 透湿性がない防水紙を使用しないでください。
- 保管中は『あんしん』を雨に濡らさないでください。
- 濡れている『あんしん』を施工したり、濡れている『あんしん』に防水紙を施工しないでください。
- 『あんしん』を以下の用途に使用しないでください。  
仕上げ材、塗装下地材、タイル下地材、モルタル下地材(直塗り)、内装下地耐力面材
- 『あんしん』に直接、エアコン室外機や給湯器等の重い物を取り付けしないでください。  
(重い物は躯体に取り付けてください。)



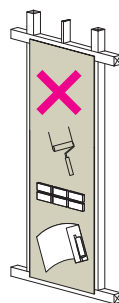
枠組壁工法



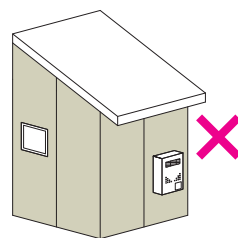
透湿性なし  
防水紙



濡れている  
『あんしん』施工



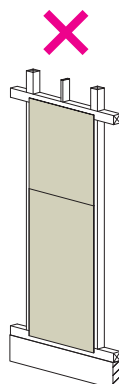
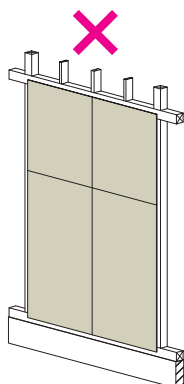
塗装、タイル、  
モルタル下地材



重い物

## 注意事項

- 『あんしん』の表面にはくぎの種類、くぎ間隔およびくぎ打ちラインが印字されています。
- 『あんしん』の留め付けには、**鉄丸くぎ N65 又はめっき鉄丸くぎ NZ65 (JIS A 5508:2009)**を用いてください。
- 『あんしん』は、防水紙等で有効に防水されている部分で使用してください。
- 耐力壁とする部位には、開口を設けないようにしてください。
- 『あんしん』と外壁材に通気層を設け、壁の水分・湿気を排出させる「外壁通気構法」を採用してください。  
※水分・湿気が滞留すると、『あんしん』の性能が損なわれるおそれがあります。
- **壁倍率 4.4 は壁の高さ方向に継手を設けないでください。(下図のように継手を設けると、耐力壁になりません。)**



- 『あんしん』の保管及び取り扱い上の注意事項については、P18をご確認ください。

新  
築

屋  
外  
用

『  
あん  
しん  
』

商  
品  
特  
長

商  
品  
案  
内

設  
計  
施  
工  
資  
料

共  
通

大壁仕様  
壁倍率  
2.5

大壁仕様  
壁倍率  
2.9

大壁仕様  
壁倍率  
4.4

大壁仕様  
壁倍率  
5.0

大壁勝手仕様  
壁倍率  
2.5  
(3尺幅限定)

大壁勝手仕様  
壁倍率  
3.2  
(3尺幅限定)

大壁勝手仕様  
壁倍率  
2.5  
(2.7尺幅限定)

大壁勝手仕様  
壁倍率  
2.8  
(2.7尺幅限定)

大壁勝手仕様  
壁倍率  
2.8  
(2.7尺幅限定)

大壁勝手仕様  
壁倍率  
2.8  
(2.7尺幅限定)

大壁勝手仕様  
壁倍率  
2.8  
(2.7尺幅限定)

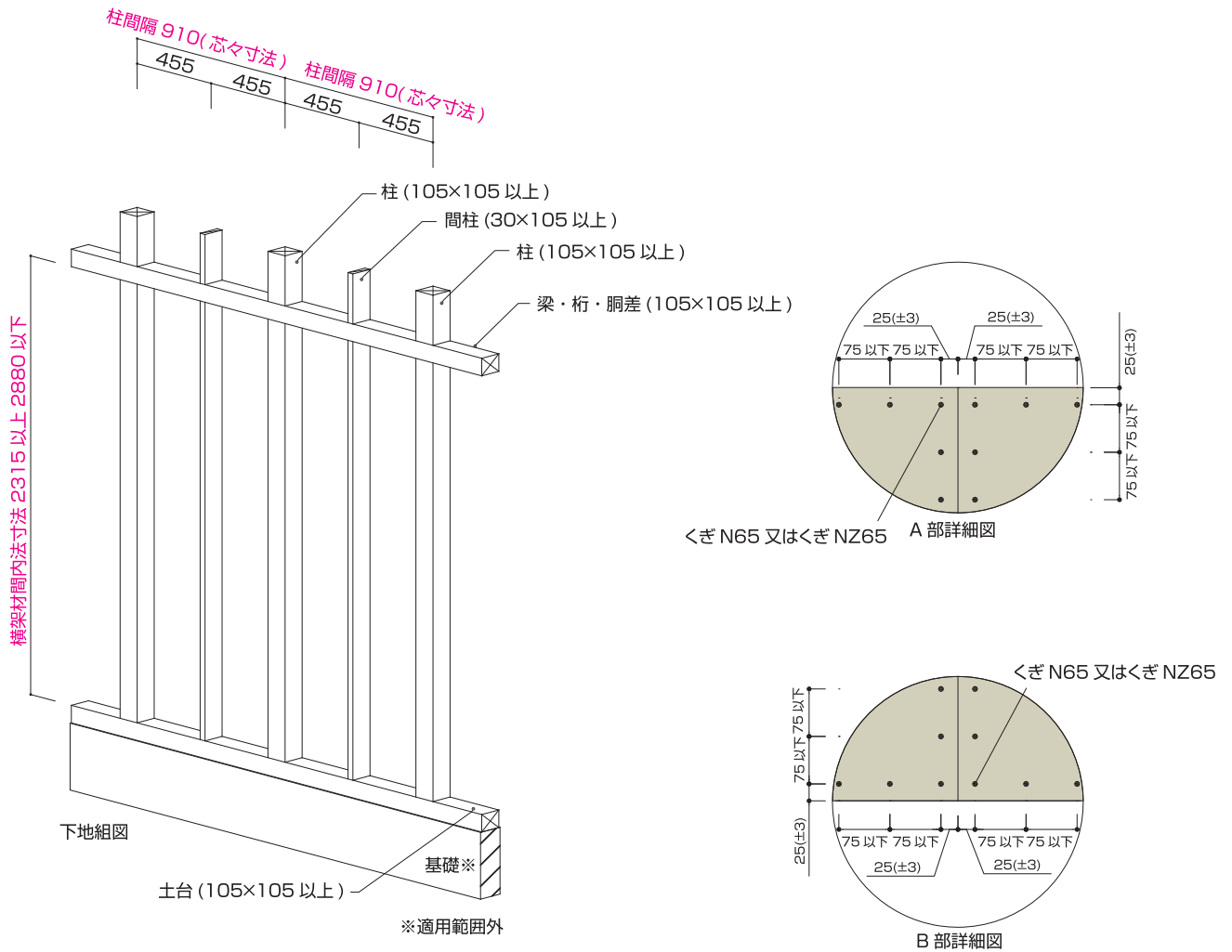
# ニチハ耐力面材『あんしん』

大壁仕様  
壁倍率4.4

認定番号	面材くぎ	くぎ間隔	縁端距離	柱、横架材	間柱	壁倍率
FRM-0458	N65 NZ65	外周75以下 中通200以下	25±3	105×105 以上	30×105 以上	4.4

## 軸組材等の仕様

- 柱、土台、梁、胴差及び桁の断面寸法は 105×105mm 以上としてください。
- 間柱の断面寸法は見付幅 30×奥行き 105mm 以上としてください。
- **柱の間隔は 910mm(芯々寸法)とし、柱と間柱の間隔は 455mm(芯々寸法)としてください。**
- **上部横架材と下部横架材の内法寸法は 2,315mm 以上 2,880mm 以下としてください。**
- 間柱の取り付けは、上部は大入れの上くぎ N75 を 2 本斜め打ち又はほぞ差しとし、下部は突き付け又は大入れの上くぎ N75 を 2 本斜め打ちとしてください。



単位:mm

# ニチハ耐力面材『あんしん』

大壁仕様  
壁倍率4.4

認定番号	面材くぎ	くぎ間隔	縁端距離	柱、横架材	間柱	壁倍率
FRM-0458	N65 NZ65	外周75以下 中通200以下	25±3	105×105 以上	30×105 以上	4.4

新  
築

屋  
外  
用

『あんしん』

商  
品  
特  
長

商  
品  
案  
内

設  
計  
施  
工  
資  
料

共  
通

大壁仕様  
壁倍率  
2.5

大壁仕様  
壁倍率  
2.9

大壁仕様  
壁倍率  
4.4

大壁仕様  
壁倍率  
5.0

大壁勝ち仕様  
壁倍率  
2.5 (3尺幅限定)

大壁勝ち仕様  
壁倍率  
3.2 (3尺幅限定)

大壁勝ち仕様  
壁倍率  
2.5 (2.1尺幅限定)

大壁勝ち仕様  
壁倍率  
2.8 (2.1尺幅限定)

大壁勝ち仕様  
壁倍率  
2.5 (2.1尺幅限定)

大壁勝ち仕様  
壁倍率  
2.8 (2.1尺幅限定)

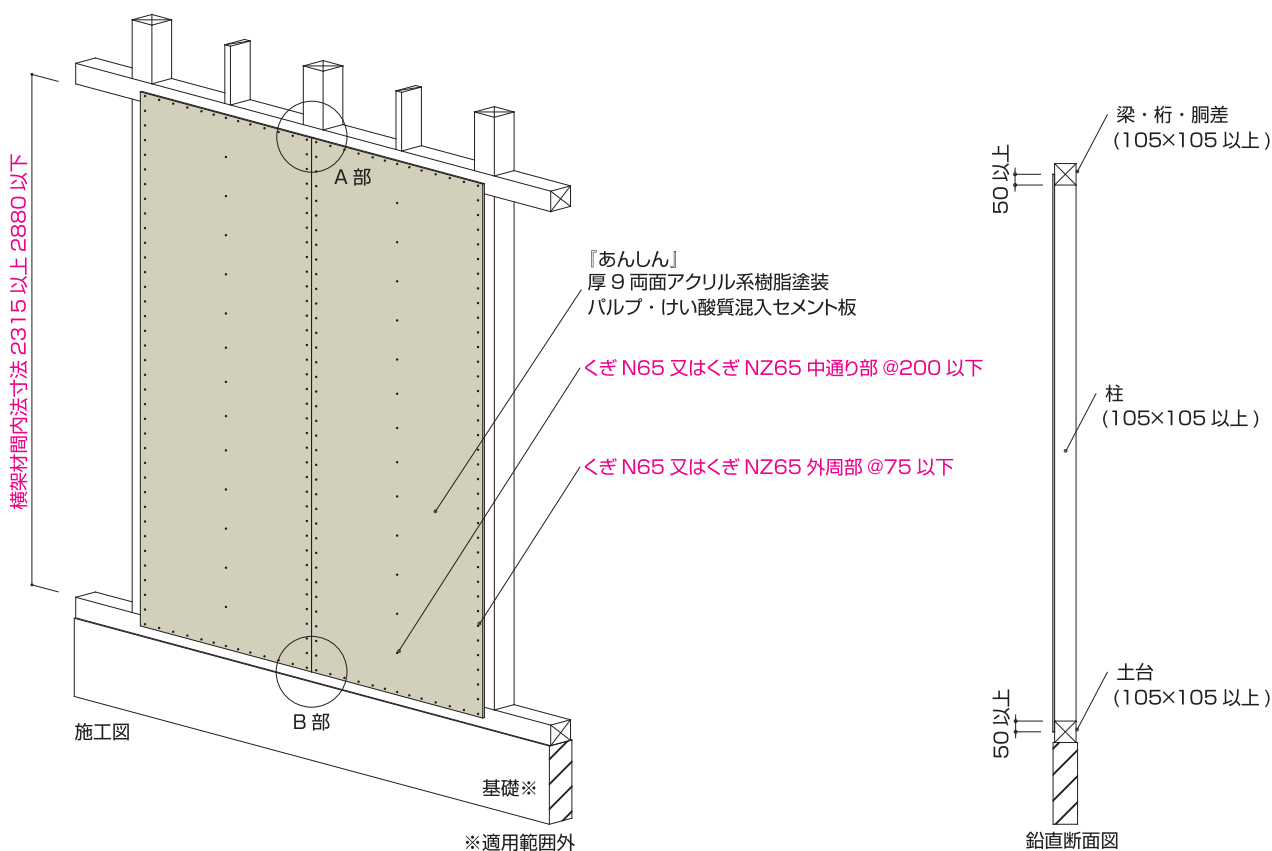
大壁勝ち仕様  
壁倍率  
2.8 (2.1尺幅限定)

## 『あんしん』の留め付けに用いるくぎ

- 鉄丸くぎ N65 又はめっき鉄丸くぎ NZ65 (JIS A 5508:2009)

## 『あんしん』の留め付け

- 『あんしん』の留め付けにはくぎ **N65 又は NZ65** を用い、**外周部 75mm 以下、中通り部 200mm 以下**の間隔で柱、土台、梁、間柱に打ちつけてください。
- くぎの縁端距離は 25mm(±3mm) としてください。
- 『あんしん』のかかり代は、柱、梁、胴差及び桁に 50mm 以上としてください。
- くぎ打ちは、『あんしん』に表示されたくぎ打ちラインに従って行い、表示のない位置は施工時にマーキング等により表示した後にくぎ打ちを行ってください。



単位:mm

- 『あんしん』の加工及び防水紙・外壁材の施工については、P18 をご確認ください。

# 大壁仕様 壁倍率5.0

単位：mm

認定番号		FRM-0425
軸 組 仕 様	柱、土台、梁、胴差および桁	105×105 以上
	間柱(幅×奥行き)	30×105 以上
	継手間柱(幅×奥行き)	-
	柱の間隔	910
	柱と間柱の間隔	455
	継手間柱と間柱の間隔	-
	上部横架材と下部横架材の内法寸法	2,315 以上 2,925 以下
当該耐力壁に使用できる『あんしん』		厚さ 9
		DL9F1
		DL9F1K
		DL9F2
		DL9F2K
		-
		-
		-
		-
留 め 付 け 仕 様	くぎ	N65 または NZ65 及びめっき鋼板 (品番：FA4000)
	間隔(外周部)	75 以下
	間隔(中通り部)	200 以下
	縁端距離	15±3
	面材のかかり代	柱、梁、胴差 及び桁に 50mm 以上

# 二子ハ耐力面材『あんしん』

大壁仕様  
壁倍率5.0

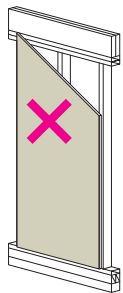
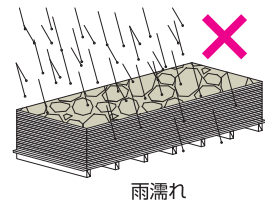
認定番号	面材くぎ	くぎ間隔	縁端距離	柱、横架材	間柱	壁倍率
FRM-0425	N65 NZ65	外周75以下 中通200以下	15±3	105×105 以上	30×105 以上	5.0

## 適用範囲

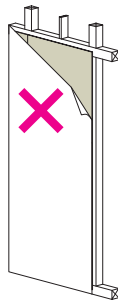
- 建築基準法施行令第40条～第49条(ただし、第48条を除く)に準拠した木造軸組
- 当該耐力壁は、建築基準法施行令第46条第4項表1に掲げる壁もしくは筋かいと併用できません。
- 平成12年建設省告示第1460号第二号ただし書きの規定に適合することを確かめるために本構造方法の倍率の数値を用いる場合、当該倍率の数値に1.0を加えた数値を用いてください。
- 平成12年建設省告示第1352号における壁率比は、令第46条第4項表1の数値として、本構造方法の倍率の数値及び当該倍率の数値に1.0を加えた数値を用いた場合のいずれについても求め、同告示第三号の基準を満たすことを確認してください。

## 禁止事項

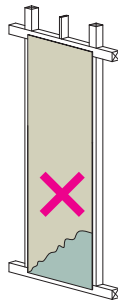
- 枠組壁工法の耐力壁には使用できません。
- 透湿性がない防水紙を使用しないでください。
- 保管中は『あんしん』を雨に濡らさないでください。
- 濡れている『あんしん』を施工したり、濡れている『あんしん』に防水紙を施工しないでください。
- 『あんしん』を以下の用途に使用しないでください。  
仕上げ材、塗装下地材、タイル下地材、モルタル下地材(直塗り)、内装下地耐力面材
- 『あんしん』に直接、エアコン室外機や給湯器等の重い物を取り付けしないでください。  
(重い物は躯体に取り付けてください。)



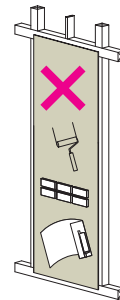
枠組壁工法



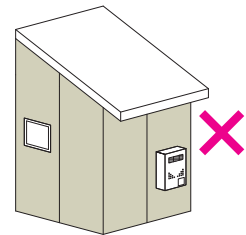
透湿性なし  
防水紙



濡れている  
『あんしん』施工



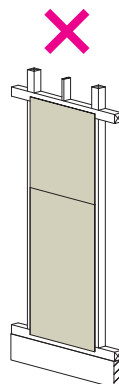
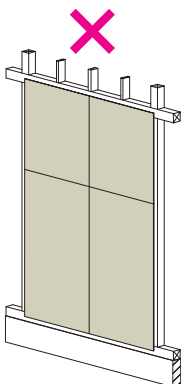
塗装、タイル、  
モルタル下地材



重い物

## 注意事項

- 『あんしん』の留め付けには、鉄丸くぎ N65 又は NZ65 (JIS A 5508:2009) を用いてください。
- めっき鋼板にはくぎ打ち位置がマーキングされています。また、『あんしん』の表面の中通り部にはくぎ打ちラインが印字されています。
- 『あんしん』は、防水紙等で有効に防水されている部分で使用してください。
- 耐力壁の適用範囲と施工仕様については、認定書の別添にも記載されておりますので、確認のうえご使用ください。
- 耐力壁とする部位には、開口を設けないようにしてください。
- 『あんしん』と外壁材に通気層を設け、壁の水分・湿気を排出させる「外壁通気構法」を採用してください。  
※水分・湿気が滞留すると、『あんしん』の性能が損なわれるおそれがあります。
- 壁倍率 5.0 は壁の高さ方向に継手を設けないでください。(下図のように継手を設けると、耐力壁になりません。)



- 『あんしん』の保管及び取り扱い上の注意事項については、P18 をご確認ください。

新築

屋外用

『あんしん』

商品特長

商品案内

設計施工資料

共通

大壁仕様  
壁倍率 2.5

大壁仕様  
壁倍率 2.9

大壁仕様  
壁倍率 4.4

大壁仕様  
壁倍率 5.0

大壁勝つ仕様  
壁倍率 2.5  
(3尺幅限定)

大壁勝つ仕様  
壁倍率 3.2  
(3尺幅限定)

大壁勝つ仕様  
壁倍率 2.5  
(2.7尺幅限定)

大壁勝つ仕様  
壁倍率 2.8  
(2.7尺幅限定)

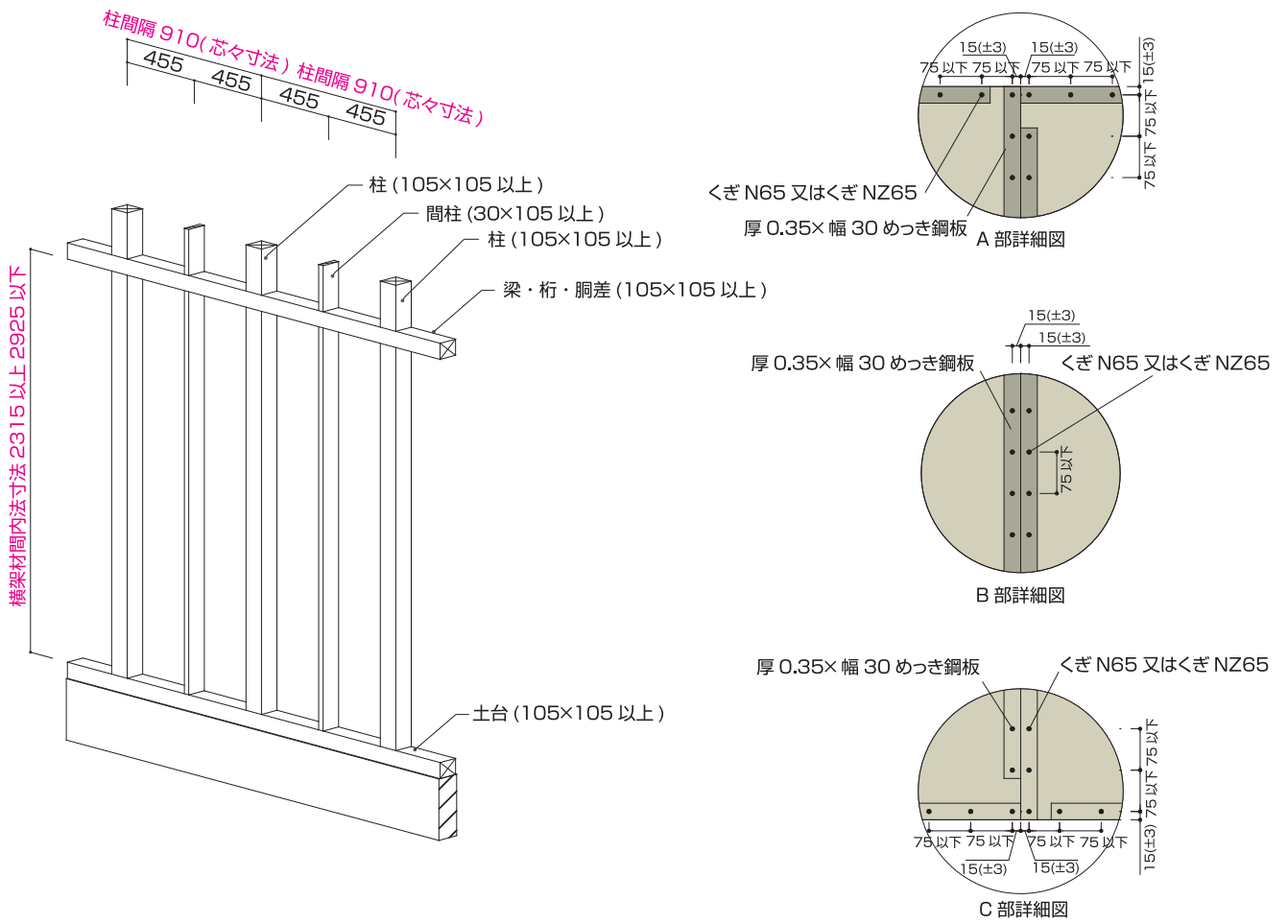
# ニチハ耐力面材『あんしん』

大壁仕様  
壁倍率5.0

認定番号	面材くぎ	くぎ間隔	縁端距離	柱、横架材	間柱	壁倍率
FRM-0425	N65 NZ65	外周75以下 中通200以下	15±3	105×105 以上	30×105 以上	5.0

## 軸組材等の仕様

- 柱、土台、梁、胴差及び桁の断面寸法は 105×105mm 以上としてください。
- 間柱の断面寸法は見付幅 30×奥行き 105mm 以上としてください。
- 柱の間隔は 910mm(芯々寸法)とし、柱と間柱の間隔は 455mm(芯々寸法)としてください。
- 上部横架材と下部横架材の内法寸法は 2,315mm 以上 2,925mm 以下としてください。
- 間柱の取り付けは、上部は大入れの上くぎ N75 を 2 本斜め打ち、又はほぞ差しとし、下部は突き付け又は大入れとし、くぎ N75 を 2 本斜め打ちしてください。



単位:mm

# ニチハ耐力面材『あんしん』

大壁仕様  
壁倍率5.0

認定番号	面材くぎ	くぎ間隔	縁端距離	柱、横架材	間柱	壁倍率
FRM-0425	N65 NZ65	外周75以下 中通200以下	15±3	105×105 以上	30×105 以上	5.0

## 『あんしん』の留め付けに用いるくぎ

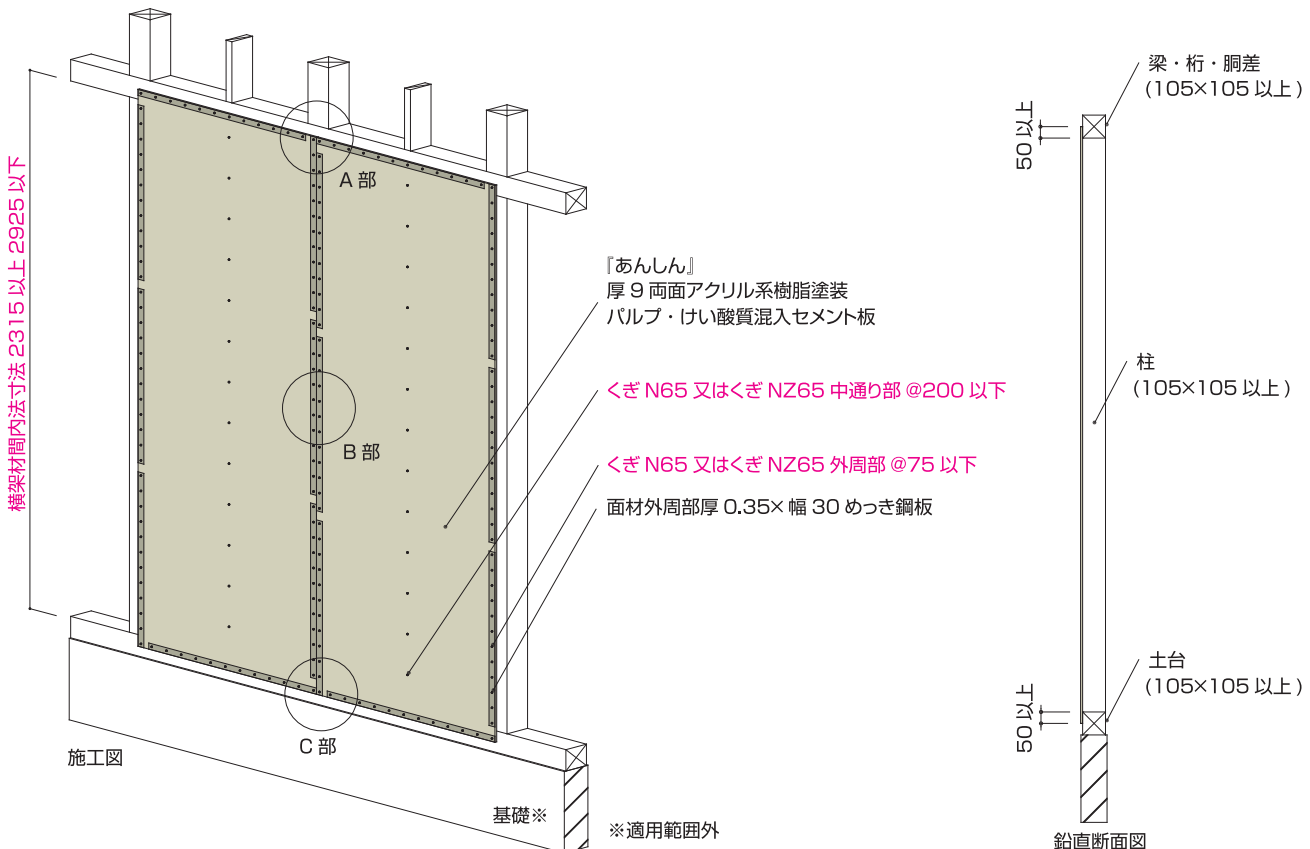
- 鉄丸くぎ N65 又はめっき鉄丸くぎ NZ65 (JIS A 5508:2009)

## 耐力壁の施工仕様の概要

- 『あんしん』外周部めっき鋼板は、『あんしん』を軸組材に留め付ける前に平置き状態で粘着テープを用い、『あんしん』外周部に仮留めしてください。
- 『あんしん』外周部短手方向は、『あんしん』の角とめっき鋼板の角を合わせ、『あんしん』上部と下部で対角となるように配置してください。
- 『あんしん』外周部長手方向は、上記のもう一方の角に1本目のめっき鋼板の角と『あんしん』の角を合わせ、2本目以降のめっき鋼板は、めっき鋼板の長手と『あんしん』の長手を合わせ、めっき鋼板同士が重ならない位置で、かつ、めっき鋼板相互のくぎ打ち位置マークの間隔が75mm以下となるように配置してください。なお、『あんしん』外周部長手方向のめっき鋼板の端部は、『あんしん』外周部短手方向のめっき鋼板と重ならない位置で切断します。

## 『あんしん』の留め付け

- 『あんしん』の留め付けにはくぎ N65 又は NZ65 を用い、外周部 75mm 以下、中通り部 200mm 以下の間隔で柱、土台、梁、間柱等に打ちつけてください。
- くぎの縁端距離は 15mm (±3mm) としてください。
- 『あんしん』のかかり代は、柱、土台、梁、胴差及び桁に 50mm 以上とってください。



- 『あんしん』の加工及び防水紙・外壁材の施工については、P18をご確認ください。

単位:mm

新  
築

屋  
外  
用

『  
あん  
しん  
』

商  
品  
特  
長

商  
品  
案  
内

設  
計  
施  
工  
資  
料

共  
通

大壁仕様  
壁倍率  
2.5

大壁仕様  
壁倍率  
2.9

大壁仕様  
壁倍率  
4.4

大壁仕様  
壁倍率  
5.0

大壁勝ち仕様  
壁倍率  
2.5 (3尺間定)

大壁勝ち仕様  
壁倍率  
3.2 (3尺間定)

大壁勝ち仕様  
壁倍率  
2.5 (2.5尺間定)

大壁勝ち仕様  
壁倍率  
2.8 (2.5尺間定)

大壁勝ち仕様  
壁倍率  
2.8 (2.5尺間定)

大壁勝ち仕様  
壁倍率  
2.8 (2.5尺間定)

大壁勝ち仕様  
壁倍率  
2.8 (2.5尺間定)



# 大壁床勝ち仕様 壁倍率2.5 (3尺幅限定)

単位：mm

認定番号		FRM-0457
軸 組 仕 様	柱、土台、梁、胴差および桁	105×105 以上
	間柱(幅×奥行き)	27×60 以上
	継手間柱(幅×奥行き)	45×60 以上
	柱の間隔	-
	柱と間柱の間隔	455
	継手間柱と間柱の間隔	455
	上部横架材と下部横架材の内法寸法	2,315 以上 2,925 以下
当該耐力壁に使用できる『あんしん』		厚さ 9
		DL9F1
		DL9F1K
		DL9F2
		DL9F2K
		-
		-
		-
留 め 付 け 仕 様	くぎ	N50 または NZ50
	間隔(外周部)	125 以下
	間隔(中通り部)	200 以下
	縁端距離	15±3
	面材のかかり代	柱、梁、胴差及び 桁に 50mm 以上、 受材に 38mm 以上、 継手間柱に 20mm 以上

# 二子ハ耐力面材『あんしん』

大壁床勝ち仕様  
壁倍率2.5  
(3尺幅限定)

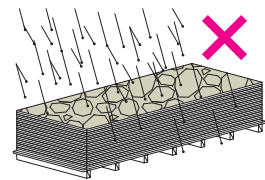
認定番号	面材くぎ	くぎ間隔	縁端距離	柱、横架材	間柱	継手間柱	壁倍率
FRM-0457	N50 NZ50	外周125以下 中通200以下	15±3	105×105 以上	27×60 以上	45×60 以上	2.5

## 適用範囲

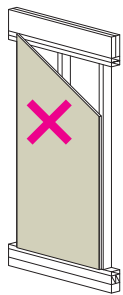
- 建築基準法施行令第40条～第49条(ただし、第48条を除く)に準拠した木造軸組
- 当該耐力壁を建築基準法施行令第46条第4項表1に掲げる壁もしくは筋かいと併用する場合は、5を限度としてそれぞれの倍率を加算できます。

## 禁止事項

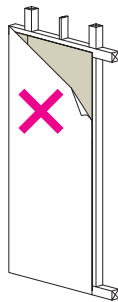
- 枠組壁工法の耐力壁には使用できません。
- 透湿性がない防水紙を使用しないでください。
- 保管中は『あんしん』を雨に濡らさないでください。
- 濡れている『あんしん』を施工したり、濡れている『あんしん』に防水紙を施工しないでください。
- 『あんしん』を以下の用途に使用しないでください。  
仕上げ材、塗装下地材、タイル下地材、モルタル下地材(直塗り)、内装下地耐力面材
- 『あんしん』に直接、エアコン室外機や給湯器等の重い物を取り付けしないでください。  
(重い物は躯体に取り付けてください。)



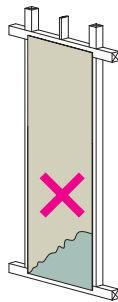
雨濡れ



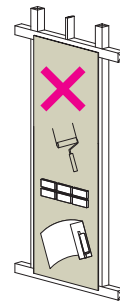
枠組壁工法



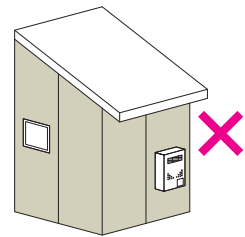
透湿性なし  
防水紙



濡れている  
『あんしん』施工



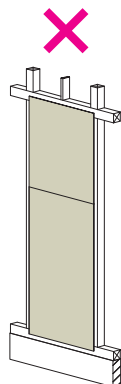
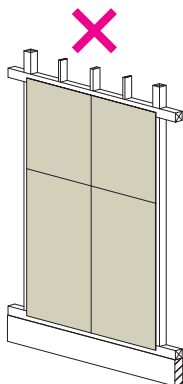
塗装、タイル、  
モルタル下地材



重い物

## 注意事項

- 『あんしん』の表面にはくぎの種類、くぎ間隔およびくぎ打ちラインが印字されています。
- 『あんしん』の留め付けには、鉄丸くぎ N50 又はめっき鉄丸くぎ NZ50(JIS A 5508:2009) を用いてください。
- 『あんしん』は、防水紙等で有効に防水されている部分で使用してください。
- 耐力壁とする部位には、開口を設けないようにしてください。
- 『あんしん』と外壁材に通気層を設け、壁の水分・湿気を排出させる「外壁通気構法」を採用してください。  
※水分・湿気が滞留すると、『あんしん』の性能が損なわれるおそれがあります。
- 床勝ち仕様壁倍率2.5は壁の高さ方向に継手を設けないでください。(下図のように継手を設けると、耐力壁になりません。)



- 『あんしん』の保管及び取り扱い上の注意事項については、P18をご確認ください。

新築

屋外用

『あんしん』

商品特長

商品案内

設計施工資料

共通

大壁仕様  
壁倍率2.5

大壁仕様  
壁倍率2.9

大壁仕様  
壁倍率4.4

大壁仕様  
壁倍率5.0

大壁勝ち仕様壁倍率2.5  
(3尺幅限定)

大壁勝ち仕様壁倍率3.2  
(3尺幅限定)

大壁勝ち仕様壁倍率2.5  
(2尺幅限定)

大壁勝ち仕様壁倍率2.8  
(2尺幅限定)

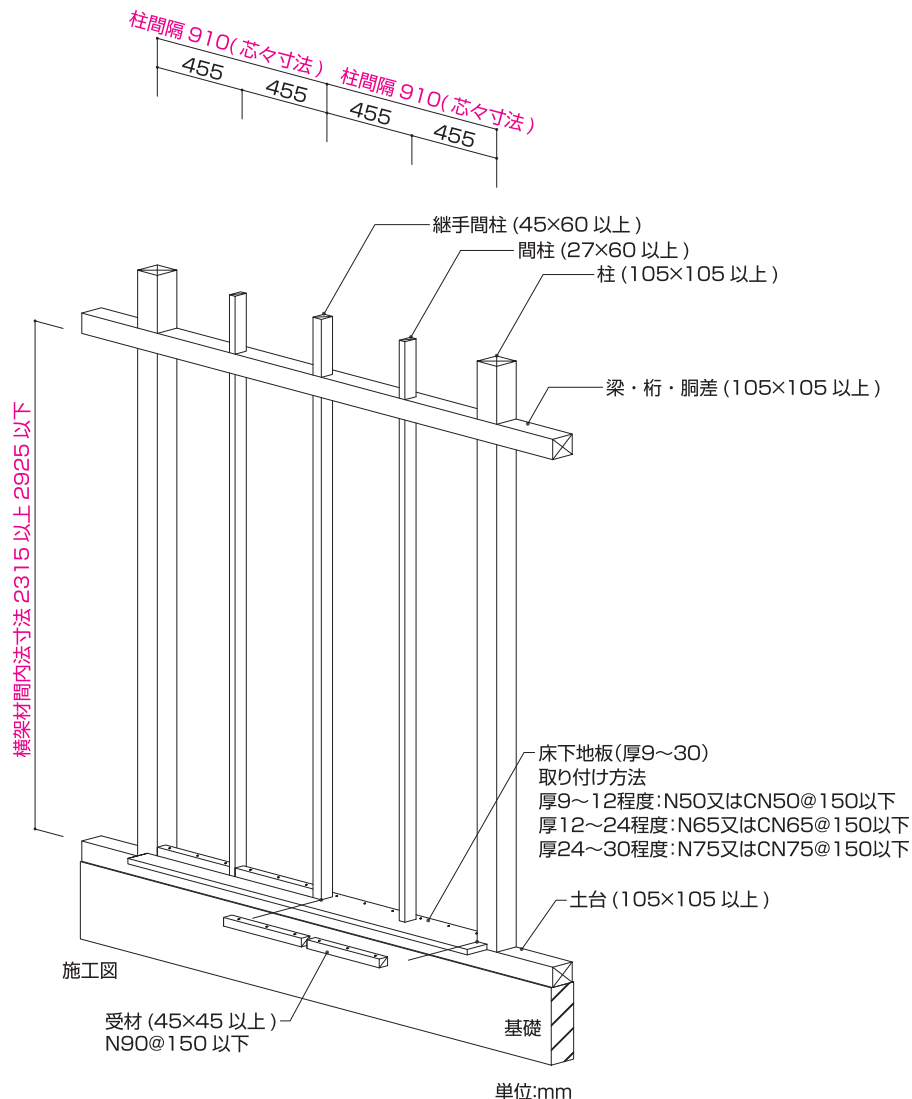
# ニチハ耐力面材『あんしん』

大壁床勝ち仕様  
壁倍率2.5  
(3尺幅限定)

認定番号	面材くぎ	くぎ間隔	縁端距離	柱、横架材	間柱	継手間柱	壁倍率
FRM-0457	N50 NZ50	外周125以下 中通200以下	15±3	105×105 以上	27×60 以上	45×60 以上	2.5

## 軸組材等の仕様

- 柱、土台、梁、胴差および桁の断面寸法は、105×105mm 以上としてください。
- 間柱の断面寸法は見付幅 27×奥行き 60mm 以上としてください。
- 『あんしん』を継ぐ間柱(以下「継手間柱」という。)の断面寸法は見付幅 45×奥行き 60mm 以上としてください。
- 受材の断面寸法は厚 45×幅 45mm 以上としてください。
- 床下地板は、構造用合板等の木質系床下地板とし、取り付け方法は、板厚に応じて以下の方法を原則としてください。
  - ① 厚 9～12mm：N50、CN50 のいずれか @150mm 以下
  - ② 厚 12～24mm：N65、CN65 のいずれか @150mm 以下
  - ③ 厚 24～30mm：N75、CN75 のいずれか @150mm 以下
- **柱と間柱、継手間柱と間柱の間隔は 455mm(芯々寸法)としてください。**
- **上部横架材と下部横架材の内法寸法は 2,315mm 以上 2,925mm 以下としてください。**
- 受材は、柱～間柱間または継手間柱～間柱間に取り付け、留め付けには鉄丸くぎ N90(JIS A 5508:2009)を用いてください。
- 受材は、N90 又は NZ90 を使い、150mm 以下の間隔で受材の幅の中央から床下地板を介して横架材に取り付けてください。なお、受材を接合するくぎと床下地板を接合するくぎは接触しない位置としてください。
- 間柱及び継手間柱の取り付けは、上部は大入れの上くぎ N75 を 2 本斜め打ち、又はほぞ差しとしてください。また、下部は床下地板に突き付けの上くぎ N75 を 2 本斜め打ちとするか、横架材に突き付け又は大入れの上、くぎ N75 を 2 本斜め打ちとしてください。



# ニチハ耐力面材『あんしん』

大壁床勝ち仕様  
壁倍率2.5  
(3尺幅限定)

認定番号	面材くぎ	くぎ間隔	縁端距離	柱、横架材	間柱	継手間柱	壁倍率
FRM-0457	N50 NZ50	外周125以下 中通200以下	15±3	105×105 以上	27×60 以上	45×60 以上	2.5

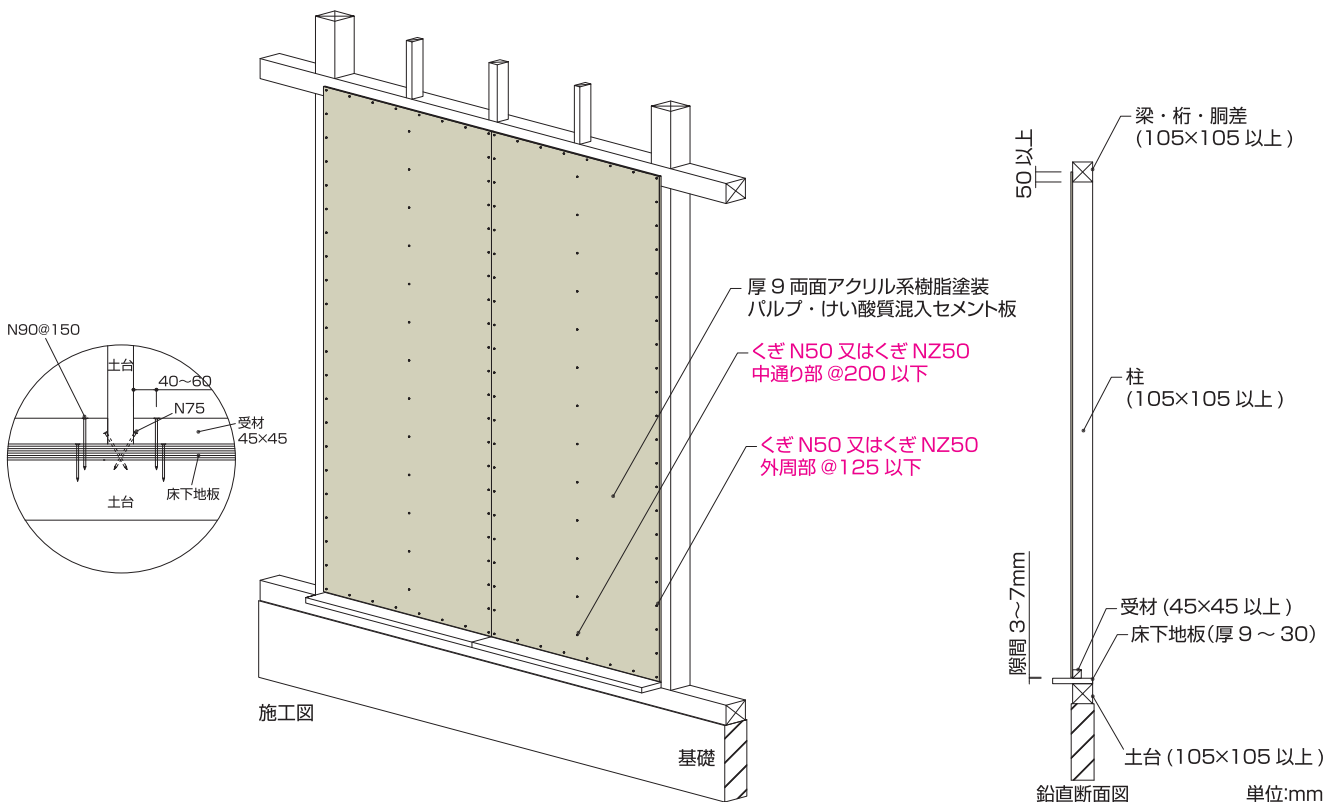
## 『あんしん』の留め付け

- 『あんしん』の表面(くぎ打ち位置印刷面)を屋外に向けて使用します。留め付けにはくぎ **N50 又は NZ50** を用い、**外周部@125mm 以下、中通り部@200mm 以下**の間隔で柱、梁、間柱及び受材等に留め付けてください。
- くぎの縁端距離(端部からのくぎ留め位置)は 15mm(±3mm)としてください。
- 面材のかかり代は、柱、梁、胴差及び桁に 50mm 以上、受材に 38mm 以上、継手間柱に 20mm 以上としてください。
- 『あんしん』端部と床下地板との間に 3～7mm の隙間を設けてください。
- くぎ打ちは、面材に表示されたくぎ打ちラインに従って行い、表示のない位置は施工時にマーキング等により表示した後にくぎ打ちしてください。
- N50 は、「商品名：FC50V8(N50)」JIS 適合品 N50 くぎ、「商品名：FCP50V8(N50)」JIS 適合品 N50 くぎ(マックス楯)をお勧めします。

「FC50V8(N50)」の適合くぎ打機(マックス楯)

HN-50N4 (D)	CN-565CG
HN-65N4 (D)	CN-665S2

- 必ず下地材がある部分にくぎ打ちしてください。下地材がない部分にくぎが『あんしん』を貫通するおそれがあります。
- くぎの打ち込み不足、打ち込み過ぎに注意してください。くぎ打機を使用する場合、軸組材によりくぎ頭の打ち込み深さが変わりますので、事前にくぎ打機を調整してください。(くぎを打ち込み過ぎると『あんしん』の性能が損なわれます。)



- 『あんしん』の加工及び防水紙・外壁材の施工については、P18 をご確認ください。

新築

屋外用

『あんしん』

商品特長

商品案内

設計施工資料

共通

大壁仕様 壁倍率 2.5

大壁仕様 壁倍率 2.9

大壁仕様 壁倍率 4.4

大壁仕様 壁倍率 5.0

大壁床勝ち仕様 壁倍率 2.5 (3尺幅限定)

大壁床勝ち仕様 壁倍率 3.2 (3尺幅限定)

大壁床勝ち仕様 壁倍率 2.5 (2.7尺幅限定)

大壁床勝ち仕様 壁倍率 2.8 (2.7尺幅限定)

# 大壁床勝ち仕様 壁倍率3.2 (3尺幅限定)

単位：mm

認定番号		FRM-0456
軸 組 仕 様	柱、土台、梁、胴差および桁	105×105 以上
	間柱(幅×奥行き)	27×60 以上
	継手間柱(幅×奥行き)	45×60 以上
	柱の間隔	-
	柱と間柱の間隔	455
	継手間柱と間柱の間隔	455
	上部横架材と下部横架材の内法寸法	2,620 以上 2,925 以下
当該耐力壁に使用できる『あんしん』		厚さ 9
		DL9F1
		DL9F1K
		DL9F2
		DL9F2K
		-
		-
		-
留 め 付 け 仕 様	くぎ	N50 または NZ50
	間隔(外周部)	100 以下
	間隔(中通り部)	200 以下
	縁端距離	15±3
	面材のかかり代	柱、梁、胴差及び 桁に 50mm 以上、 受材に 38mm 以上、 継手間柱に 20mm 以上

# 二子ハ耐力面材『あんしん』

大壁床勝ち仕様  
壁倍率3.2  
(3尺幅限定)

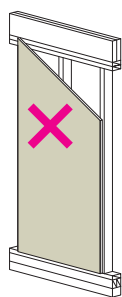
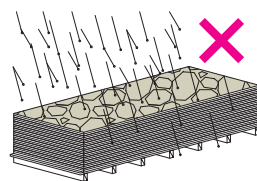
認定番号	面材くぎ	くぎ間隔	縁端距離	柱、横架材	間柱	継手間柱	壁倍率
FRM-0456	N50 NZ50	外周100以下 中通200以下	15±3	105×105 以上	27×60 以上	45×60 以上	3.2

## 適用範囲

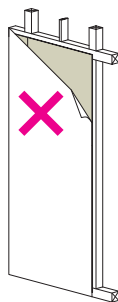
- 建築基準法施行令第40条～第49条(ただし、第48条を除く)に準拠した木造軸組
- 当該耐力壁を建築基準法施行令第46条第4項表1に掲げる壁もしくは筋かいと併用する場合は、5を限度としてそれぞれの倍率を加算できます。

## 禁止事項

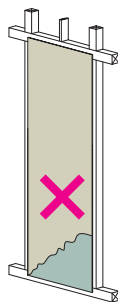
- 枠組壁工法の耐力壁には使用できません。
- 透湿性がない防水紙を使用しないでください。
- 保管中は『あんしん』を雨に濡らさないでください。
- 濡れている『あんしん』を施工したり、濡れている『あんしん』に防水紙を施工しないでください。
- 『あんしん』を以下の用途に使用しないでください。  
仕上げ材、塗装下地材、タイル下地材、モルタル下地材(直塗り)、内装下地耐力面材
- 『あんしん』に直接、エアコン室外機や給湯器等の重い物を取り付けしないでください。  
(重い物は躯体に取り付けてください。)



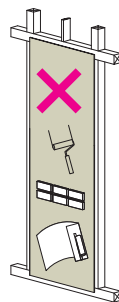
枠組壁工法



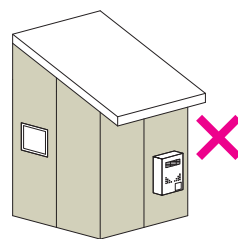
透湿性なし  
防水紙



濡れている  
『あんしん』施工



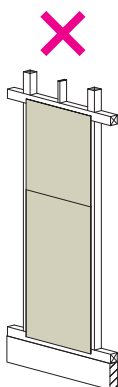
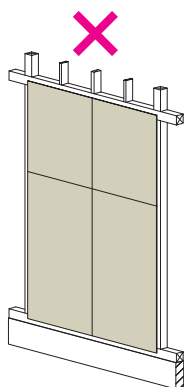
塗装、タイル、  
モルタル下地材



重い物

## 注意事項

- 『あんしん』の表面にはくぎの種類、くぎ間隔およびくぎ打ちラインが印字されています。
- 『あんしん』の留め付けには、鉄丸くぎ N50 又はめっき鉄丸くぎ NZ50(JIS A 5508:2009) を用いてください。
- 『あんしん』は、防水紙等で有効に防水されている部分で使用してください。
- 耐力壁とする部位には、開口を設けないようにしてください。
- 『あんしん』と外壁材に通気層を設け、壁の水分・湿気を排出させる「外壁通気構法」を採用してください。  
※水分・湿気が滞留すると、『あんしん』の性能が損なわれるおそれがあります。
- 床勝ち仕様壁倍率 3.2 は壁の高さ方向に継手を設けないでください。(下図のように継手を設けると、耐力壁になりません。)



- 『あんしん』の保管及び取り扱い上の注意事項については、P18をご確認ください。

新築

屋外用

『あんしん』

商品特長

商品案内

設計施工資料

共通

大壁仕様  
壁倍率 2.5

大壁仕様  
壁倍率 2.9

大壁仕様  
壁倍率 4.4

大壁仕様  
壁倍率 5.0

大壁床勝ち仕様  
壁倍率 2.5  
(3尺幅限定)

大壁床勝ち仕様  
壁倍率 3.2  
(3尺幅限定)

大壁床勝ち仕様  
壁倍率 2.5  
(2尺幅限定)

大壁床勝ち仕様  
壁倍率 2.8  
(2尺幅限定)

大壁床勝ち仕様  
壁倍率 2.8  
(2尺幅限定)

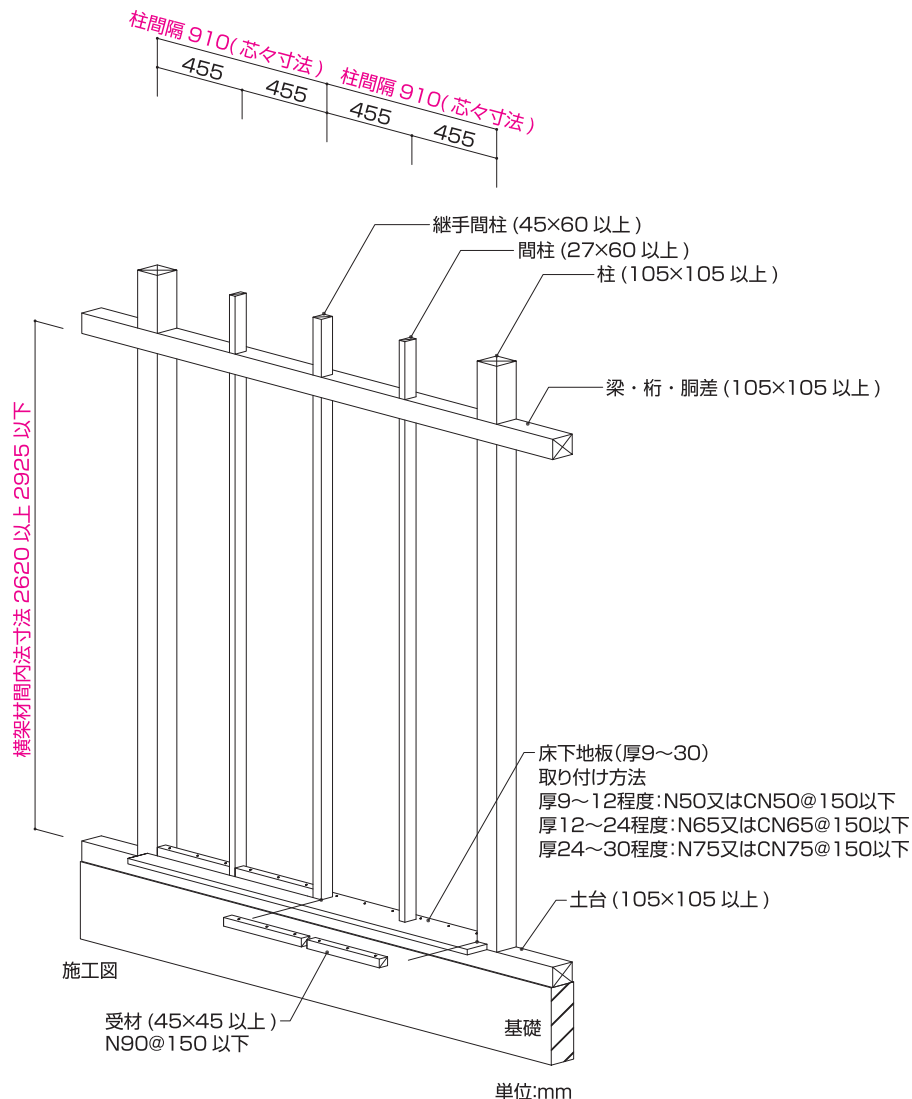
# ニチハ耐力面材『あんしん』

大壁床勝ち仕様  
壁倍率3.2  
(3尺幅限定)

認定番号	面材くぎ	くぎ間隔	縁端距離	柱、横架材	間柱	継手間柱	壁倍率
FRM-0456	N50 NZ50	外周100以下 中通200以下	15±3	105×105 以上	27×60 以上	45×60 以上	3.2

## 軸組材等の仕様

- 柱、土台、梁、胴差および桁の断面寸法は、105×105mm 以上としてください。
- 間柱の断面寸法は見付幅 27× 奥行 60mm 以上としてください。
- 『あんしん』を継ぐ間柱(以下「継手間柱」という。)の断面寸法は見付幅 45× 奥行 60mm 以上としてください。
- 受材の断面寸法は厚 45× 幅 45mm 以上としてください。
- 床下地板は、構造用合板等の木質系床下地板とし、取り付け方法は、板厚に応じて以下の方法を原則としてください。
  - ① 厚 9～12mm : N50、CN50 のいずれか @150mm 以下
  - ② 厚 12～24mm : N65、CN65 のいずれか @150mm 以下
  - ③ 厚 24～30mm : N75、CN75 のいずれか @150mm 以下
- **柱と間柱、継手間柱と間柱の間隔は 455mm(芯々寸法)としてください。**
- **上部横架材と下部横架材の内法寸法は 2,620mm 以上 2,925mm 以下としてください。**
- 受材は、柱～間柱間または継手間柱～間柱間に取り付け、留め付けには鉄丸くぎ N90(JIS A 5508:2009)を用いてください。
- 受材は、N90 又は NZ90 を使い、150mm 以下の間隔で受材の幅の中央から床下地板を介して横架材に取り付けてください。なお、受材を接合するくぎと床下地板を接合するくぎは接触しない位置としてください。
- 間柱及び継手間柱の取り付けは、上部は大入れの上くぎ N75 を 2 本斜め打ち、又はほぞ差しとしてください。また、下部は床下地板に突き付けの上くぎ N75 を 2 本斜め打ちとするか、横架材に突き付け又は大入れの上、くぎ N75 を 2 本斜め打ちとしてください。



# ニチハ耐力面材『あんしん』

大壁床勝ち仕様  
壁倍率3.2  
(3尺幅限定)

認定番号	面材くぎ	くぎ間隔	縁端距離	柱、横架材	間柱	継手間柱	壁倍率
FRM-0456	N50 NZ50	外周100以下 中通200以下	15±3	105×105 以上	27×60 以上	45×60 以上	3.2

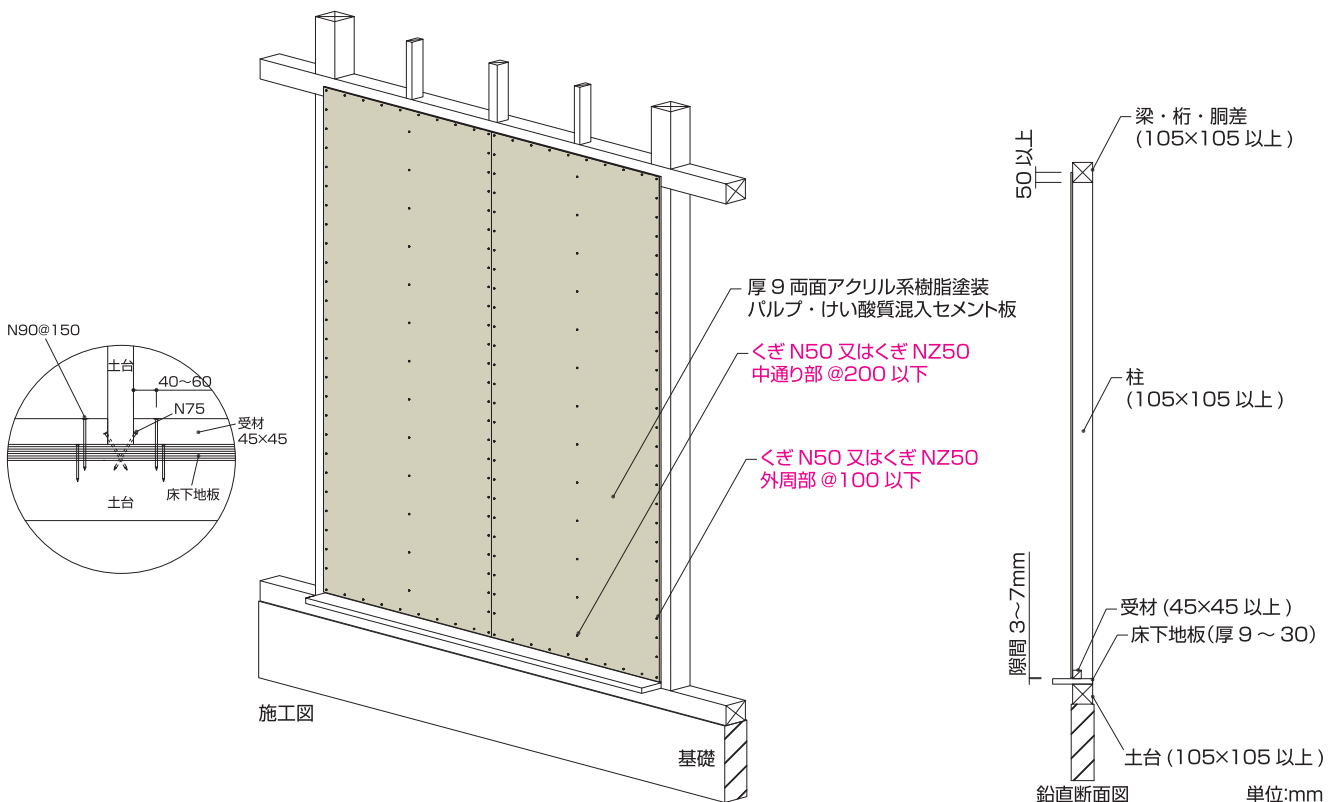
## 『あんしん』の留め付け

- 『あんしん』の表面(くぎ打ち位置印刷面)を屋外に向けて使用します。留め付けにはくぎ **N50 又は NZ50** を用い、**外周部@100mm 以下、中通り部@200mm 以下**の間隔で柱、梁、間柱及び受材等に留め付けてください。
- くぎの縁端距離(端部からのくぎ留め位置)は 15mm(±3mm)としてください。
- 面材のかかり代は、柱、梁、胴差及び桁に 50mm 以上、受材に 38mm 以上、継手間柱に 20mm 以上としてください。
- 『あんしん』端部と床下地板との間に 3～7mm の隙間を設けてください。
- くぎ打ちは、面材に表示されたくぎ打ちラインに従って行い、表示のない位置は施工時にマーキング等により表示した後にくぎ打ちしてください。
- N50 は、「商品名：FC50V8(N50)」JIS 適合品 N50 くぎ、「商品名：FCP50V8(N50)」JIS 適合品 N50 くぎ(マックス株)をお勧めします。

「FC50V8(N50)」の適合くぎ打機(マックス株)

HN-50N4 (D)	CN-565CG
HN-65N4 (D)	CN-665S2

- 必ず下地材がある部分にくぎ打ちしてください。下地材がない部分にくぎが『あんしん』を貫通するおそれがあります。
- くぎの打ち込み不足、打ち込み過ぎに注意してください。くぎ打機を使用する場合、軸組材によりくぎ頭の打ち込み深さが変わりますので、事前にくぎ打機を調整してください。(くぎを打ち込み過ぎると『あんしん』の性能が損なわれます。)



- 『あんしん』の加工及び防水紙・外壁材の施工については、P18 をご確認ください。

新築

屋外用

『あんしん』

商品特長

商品案内

設計施工資料

共通

大壁仕様 壁倍率 2.5

大壁仕様 壁倍率 2.9

大壁仕様 壁倍率 4.4

大壁仕様 壁倍率 5.0

大壁床勝ち仕様 壁倍率 2.5 (3尺幅限定)

大壁床勝ち仕様 壁倍率 3.2 (3尺幅限定)

大壁床勝ち仕様 壁倍率 2.5 (2.1尺幅限定)

大壁床勝ち仕様 壁倍率 2.8 (2.1尺幅限定)



# 大壁床勝ち仕様 壁倍率2.5 (メーター幅限定)

単位：mm

認定番号		FRM-0497
軸 組 仕 様	柱、土台、梁、胴差および桁	105×105 以上
	間柱(幅×奥行き)	27×60 以上
	継手間柱(幅×奥行き)	45×60 以上
	柱の間隔	-
	柱と間柱の間隔	500
	継手間柱と間柱の間隔	500
	上部横架材と下部横架材の内法寸法	2,315 以上 2,925 以下
当該耐力壁に使用できる『あんしん』		厚さ 9
		-
		-
		-
		-
		DM9F1
		DM9F2
		-
		-
留 め 付 け 仕 様	くぎ	N50 または NZ50
	間隔(外周部)	125 以下
	間隔(中通り部)	200 以下
	縁端距離	15±3
	面材のかかり代	柱、梁、胴差及び 桁に 50mm 以上、 受材に 38mm 以上、 継手間柱に 20mm 以上

# 二子ハ耐力面材『あんしん』

大壁床勝ち仕様  
壁倍率2.5  
(メーター幅限定)

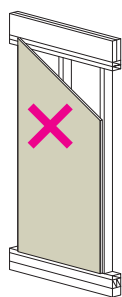
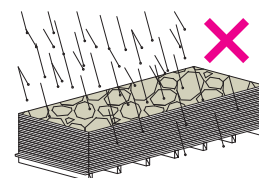
認定番号	面材くぎ	くぎ間隔	縁端距離	柱、横架材	間柱	継手間柱	壁倍率
FRM-0497	N50 NZ50	外周125以下 中通200以下	15±3	105×105 以上	27×60 以上	45×60 以上	2.5

## 適用範囲

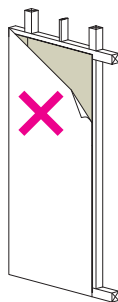
- 建築基準法施行令第40条～第49条(ただし、第48条を除く)に準拠した木造軸組
- 当該耐力壁を建築基準法施行令第46条第4項表1に掲げる壁もしくは筋かいと併用する場合は、5を限度としてそれぞれの倍率を加算できます。

## 禁止事項

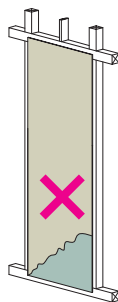
- 枠組壁工法の耐力壁には使用できません。
- 透湿性がない防水紙を使用しないでください。
- 保管中は『あんしん』を雨に濡らさないでください。
- 濡れている『あんしん』を施工したり、濡れている『あんしん』に防水紙を施工しないでください。
- 『あんしん』を以下の用途に使用しないでください。  
仕上げ材、塗装下地材、タイル下地材、モルタル下地材(直塗り)、内装下地耐力面材
- 『あんしん』に直接、エアコン室外機や給湯器等の重い物を取り付けしないでください。  
(重い物は躯体に取り付けてください。)



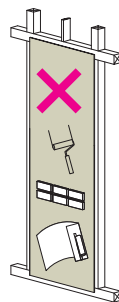
枠組壁工法



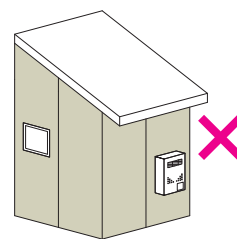
透湿性なし  
防水紙



濡れている  
『あんしん』施工



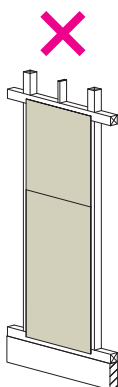
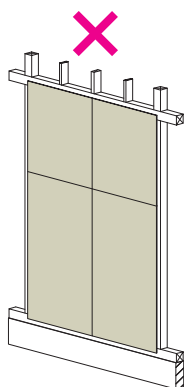
塗装、タイル、  
モルタル下地材



重い物

## 注意事項

- 『あんしん』の表面にはくぎの種類、くぎ間隔およびくぎ打ちラインが印字されています。
- 『あんしん』の留め付けには、鉄丸くぎ N50 又はめっき鉄丸くぎ NZ50(JIS A 5508:2009) を用いてください。
- 『あんしん』は、防水紙等で有効に防水されている部分で使用してください。
- 耐力壁とする部位には、開口を設けないようにしてください。
- 『あんしん』と外壁材に通気層を設け、壁の水分・湿気を排出させる「外壁通気構法」を採用してください。  
※水分・湿気が滞留すると、『あんしん』の性能が損なわれるおそれがあります。
- 床勝ち仕様壁倍率2.5は壁の高さ方向に継手を設けないでください。(下図のように継手を設けると、耐力壁になりません。)



- 『あんしん』の保管及び取り扱い上の注意事項については、P18をご確認ください。

新築

屋外用

『あんしん』

商品特長

商品案内

設計施工資料

共通

大壁仕様  
壁倍率2.5

大壁仕様  
壁倍率2.9

大壁仕様  
壁倍率4.4

大壁仕様  
壁倍率5.0

大壁床勝ち仕様  
壁倍率2.5  
(3尺幅限定)

大壁床勝ち仕様  
壁倍率3.2  
(3尺幅限定)

大壁床勝ち仕様  
壁倍率2.5  
(メーター幅限定)

大壁床勝ち仕様  
壁倍率2.8  
(メーター幅限定)

大壁床勝ち仕様  
壁倍率2.8  
(メーター幅限定)

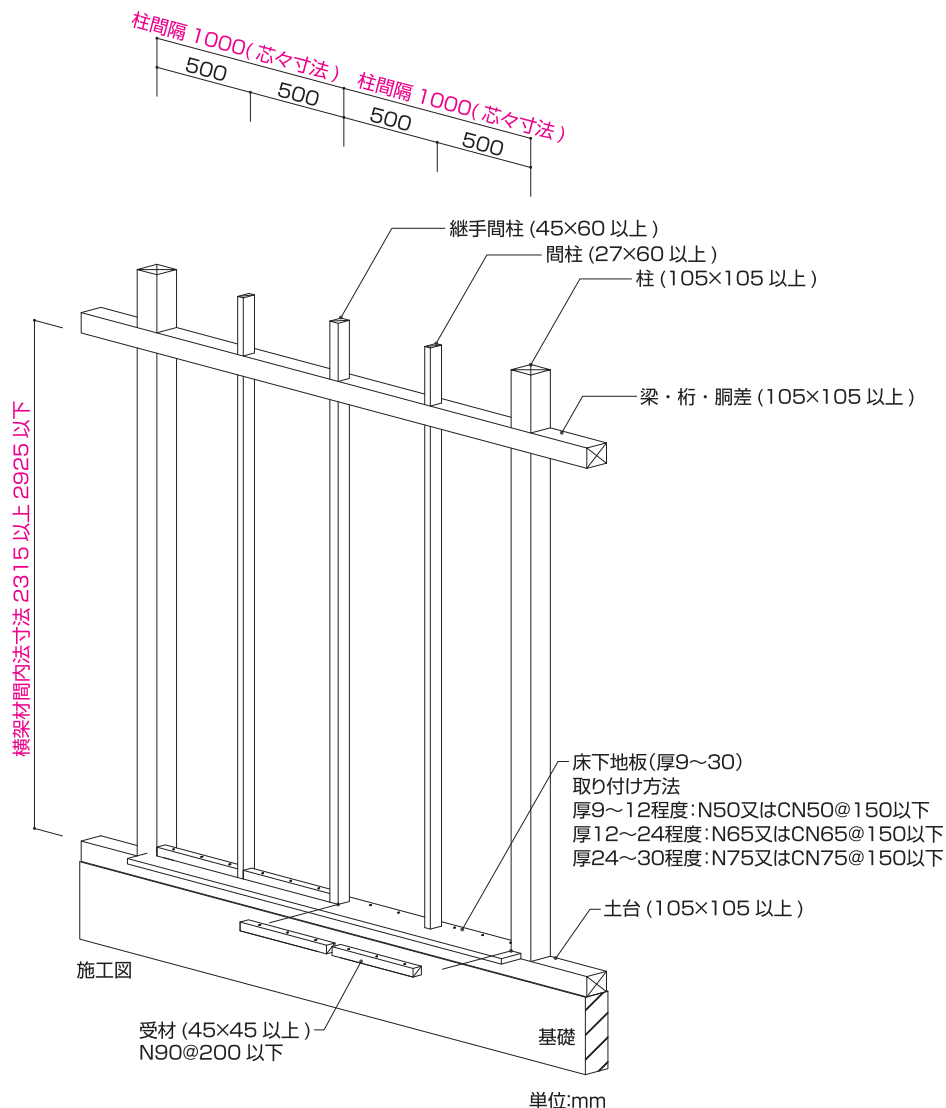
# ニチハ耐力面材『あんしん』

大壁床勝ち仕様  
壁倍率2.5  
(メーター幅限定)

認定番号	面材くぎ	くぎ間隔	縁端距離	柱、横架材	間柱	継手間柱	壁倍率
FRM-0497	N50 NZ50	外周125以下 中通200以下	15±3	105×105 以上	27×60 以上	45×60 以上	2.5

## 軸組材等の仕様

- 柱、土台、梁、胴差および桁の断面寸法は、105×105mm 以上としてください。
- 間柱の断面寸法は見付幅 27× 奥行 60mm 以上としてください。
- 『あんしん』を継ぐ間柱(以下「継手間柱」という。)の断面寸法は見付幅 45× 奥行 60mm 以上としてください。
- 受材の断面寸法は厚 45× 幅 45mm 以上としてください。
- 床下地板は、構造用合板等の木質系床下地板とし、取り付け方法は、板厚に応じて以下の方法を原則としてください。
  - ① 厚 9～12mm : N50、CN50 のいずれか @150mm 以下
  - ② 厚 12～24mm : N65、CN65 のいずれか @150mm 以下
  - ③ 厚 24～30mm : N75、CN75 のいずれか @150mm 以下
- **柱と間柱、継手間柱と間柱の間隔は 500mm(芯々寸法)としてください。**
- **上部横架材と下部横架材の内法寸法は 2,315mm 以上 2,925mm 以下としてください。**
- 受材は、柱～間柱間または継手間柱～間柱間に取り付け、留め付けには鉄丸くぎ N90(JIS A 5508:2009)を用いてください。
- 受材は、N90 又は NZ90(JIS A 5508:2009)を用い、200mm 以下の間隔で受材の幅の中央から床下地板を介して横架材に取り付けてください。なお、受材を接合するくぎと床下地板を接合するくぎは接触しない位置としてください。
- 間柱及び継手間柱の取り付けは、上部は大入れの上くぎ N75 を 2 本斜め打ち、又はほぞ差しとしてください。また、下部は床下地板に突き付けの上くぎ N75 を 2 本斜め打ちとするか、横架材に突き付け又は大入れの上、くぎ N75 を 2 本斜め打ちとしてください。



# ニチハ耐力面材『あんしん』

大壁床勝ち仕様  
壁倍率2.5  
(メーター幅限定)

認定番号	面材くぎ	くぎ間隔	縁端距離	柱、横架材	間柱	継手間柱	壁倍率
FRM-0497	N50 NZ50	外周125以下 中通200以下	15±3	105×105 以上	27×60 以上	45×60 以上	2.5

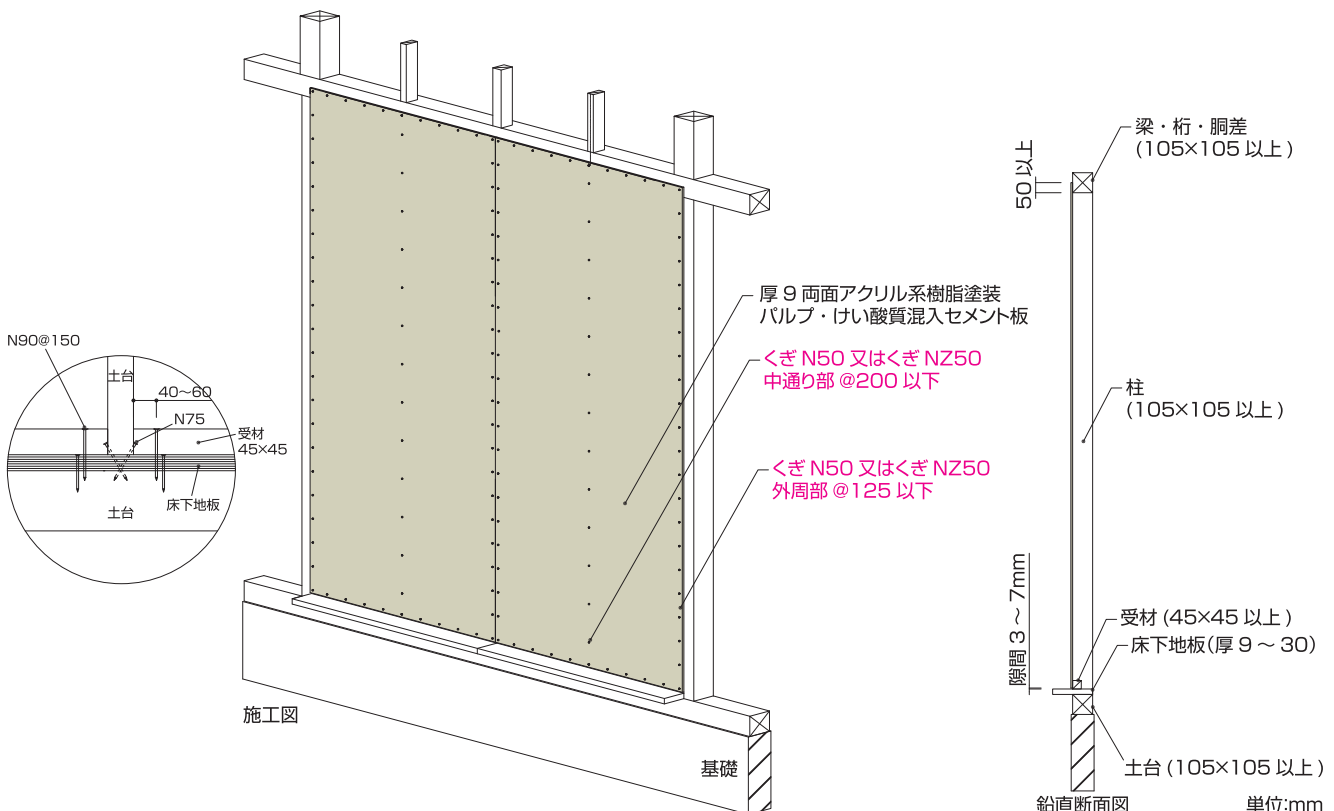
## 『あんしん』の留め付け

- 『あんしん』の表面(くぎ打ち位置印刷面)を屋外に向けて使用します。留め付けにはくぎ **N50 又は NZ50** を用い、**外周部@125mm 以下、中通り部@200mm 以下**の間隔で柱、梁、間柱及び受材等に留め付けてください。
- くぎの縁端距離(端部からのくぎ留め位置)は 15mm(±3mm)としてください。
- 面材のかかり代は、柱、梁、胴差及び桁に 50mm 以上、受材に 38mm 以上、継手間柱に 20mm 以上としてください。
- 『あんしん』端部と床下地板との間に 3～7mm の隙間を設けてください。
- くぎ打ちは、面材に表示されたくぎ打ちラインに従って行い、表示のない位置は施工時にマーキング等により表示した後にくぎ打ちしてください。
- N50 は、「商品名：FC50V8(N50)」JIS 適合品 N50 くぎ、「商品名：FCP50V8(N50)」JIS 適合品 N50 くぎ(マックス株)をお勧めします。

「FC50V8(N50)」の適合くぎ打機(マックス株)

HN-50N4 (D)	CN-565CG
HN-65N4 (D)	CN-665S2

- 必ず下地材がある部分にくぎ打ちしてください。下地材がない部分にくぎが『あんしん』を貫通するおそれがあります。
- くぎの打ち込み不足、打ち込み過ぎに注意してください。くぎ打機を使用する場合、軸組材によりくぎ頭の打ち込み深さが変わりますので、事前にくぎ打機を調整してください。(くぎを打ち込み過ぎると『あんしん』の性能が損なわれます。)



- 『あんしん』の加工及び防水紙・外壁材の施工については、P18 をご確認ください。

新築

屋外用

『あんしん』

商品特長

商品案内

設計施工資料

共通

大壁仕様  
壁倍率  
2.5

大壁仕様  
壁倍率  
2.9

大壁仕様  
壁倍率  
4.4

大壁仕様  
壁倍率  
5.0

大壁床勝ち仕様  
壁倍率  
(3尺幅限定)  
2.5

大壁床勝ち仕様  
壁倍率  
(3尺幅限定)  
3.2

大壁床勝ち仕様  
壁倍率  
(メーター幅限定)  
2.5

大壁床勝ち仕様  
壁倍率  
(メーター幅限定)  
2.5

大壁床勝ち仕様  
壁倍率  
(メーター幅限定)  
2.8

大壁床勝ち仕様  
壁倍率  
(メーター幅限定)  
2.8

# 大壁床勝ち仕様 壁倍率2.8 (メーター幅限定)

単位：mm

認定番号		FRM-0496
軸 組 仕 様	柱、土台、梁、胴差および桁	105×105 以上
	間柱(幅×奥行き)	27×60 以上
	継手間柱(幅×奥行き)	45×60 以上
	柱の間隔	-
	柱と間柱の間隔	500
	継手間柱と間柱の間隔	500
	上部横架材と下部横架材の内法寸法	2,315 以上 2,925 以下
当該耐力壁に使用できる『あんしん』		厚さ 9
		-
		-
		-
		-
		DM9F1
		DM9F2
		-
		-
留 め 付 け 仕 様	くぎ	N50 または NZ50
	間隔(外周部)	100 以下
	間隔(中通り部)	200 以下
	縁端距離	15±3
	面材のかかり代	柱、梁、胴差及び 桁に 50mm 以上、 受材に 38mm 以上、 継手間柱に 20mm 以上

# 二子ハ耐力面材『あんしん』

大壁床勝ち仕様  
壁倍率2.8  
(メーター幅限定)

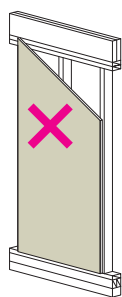
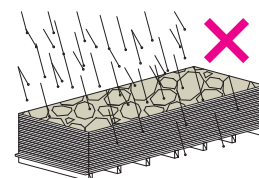
認定番号	面材くぎ	くぎ間隔	縁端距離	柱、横架材	間柱	継手間柱	壁倍率
FRM-0496	N50 NZ50	外周100以下 中通200以下	15±3	105×105 以上	27×60 以上	45×60 以上	2.8

## 適用範囲

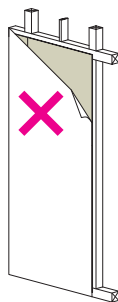
- 建築基準法施行令第40条～第49条(ただし、第48条を除く)に準拠した木造軸組
- 当該耐力壁を建築基準法施行令第46条第4項表1に掲げる壁もしくは筋かいと併用する場合は、5を限度としてそれぞれの倍率を加算できます。

## 禁止事項

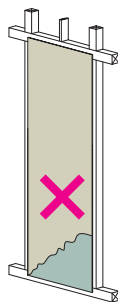
- 枠組壁工法の耐力壁には使用できません。
- 透湿性がない防水紙を使用しないでください。
- 保管中は『あんしん』を雨に濡らさないでください。
- 濡れている『あんしん』を施工したり、濡れている『あんしん』に防水紙を施工しないでください。
- 『あんしん』を以下の用途に使用しないでください。  
仕上げ材、塗装下地材、タイル下地材、モルタル下地材(直塗り)、内装下地耐力面材
- 『あんしん』に直接、エアコン室外機や給湯器等の重い物を取り付けしないでください。  
(重い物は躯体に取り付けてください。)



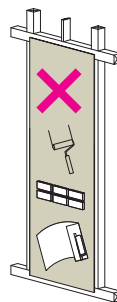
枠組壁工法



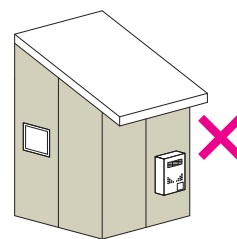
透湿性なし  
防水紙



濡れている  
『あんしん』施工



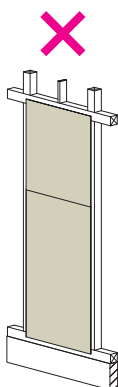
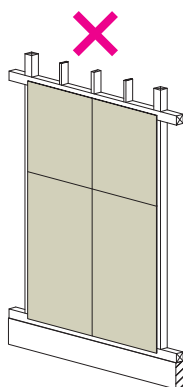
塗装、タイル、  
モルタル下地材



重い物

## 注意事項

- 『あんしん』の表面にはくぎの種類、くぎ間隔およびくぎ打ちラインが印字されています。
- 『あんしん』の留め付けには、鉄丸くぎ N50 又はめっき鉄丸くぎ NZ50(JIS A 5508:2009) を用いてください。
- 『あんしん』は、防水紙等で有効に防水されている部分で使用してください。
- 耐力壁とする部位には、開口を設けないようにしてください。
- 『あんしん』と外壁材に通気層を設け、壁の水分・湿気を排出させる「外壁通気構法」を採用してください。  
※水分・湿気が滞留すると、『あんしん』の性能が損なわれるおそれがあります。
- 床勝ち仕様壁倍率2.8は壁の高さ方向に継手を設けないでください。(下図のように継手を設けると、耐力壁になりません。)



- 『あんしん』の保管及び取り扱い上の注意事項については、P18をご確認ください。

新築

屋外用

『あんしん』

商品特長

商品案内

設計施工資料

共通

大壁仕様  
壁倍率2.5

大壁仕様  
壁倍率2.9

大壁仕様  
壁倍率4.4

大壁仕様  
壁倍率5.0

大壁床勝ち仕様  
壁倍率2.5  
(3尺幅限定)

大壁床勝ち仕様  
壁倍率3.2  
(3尺幅限定)

大壁床勝ち仕様  
壁倍率2.5  
(メーター幅限定)

大壁床勝ち仕様  
壁倍率2.8  
(メーター幅限定)

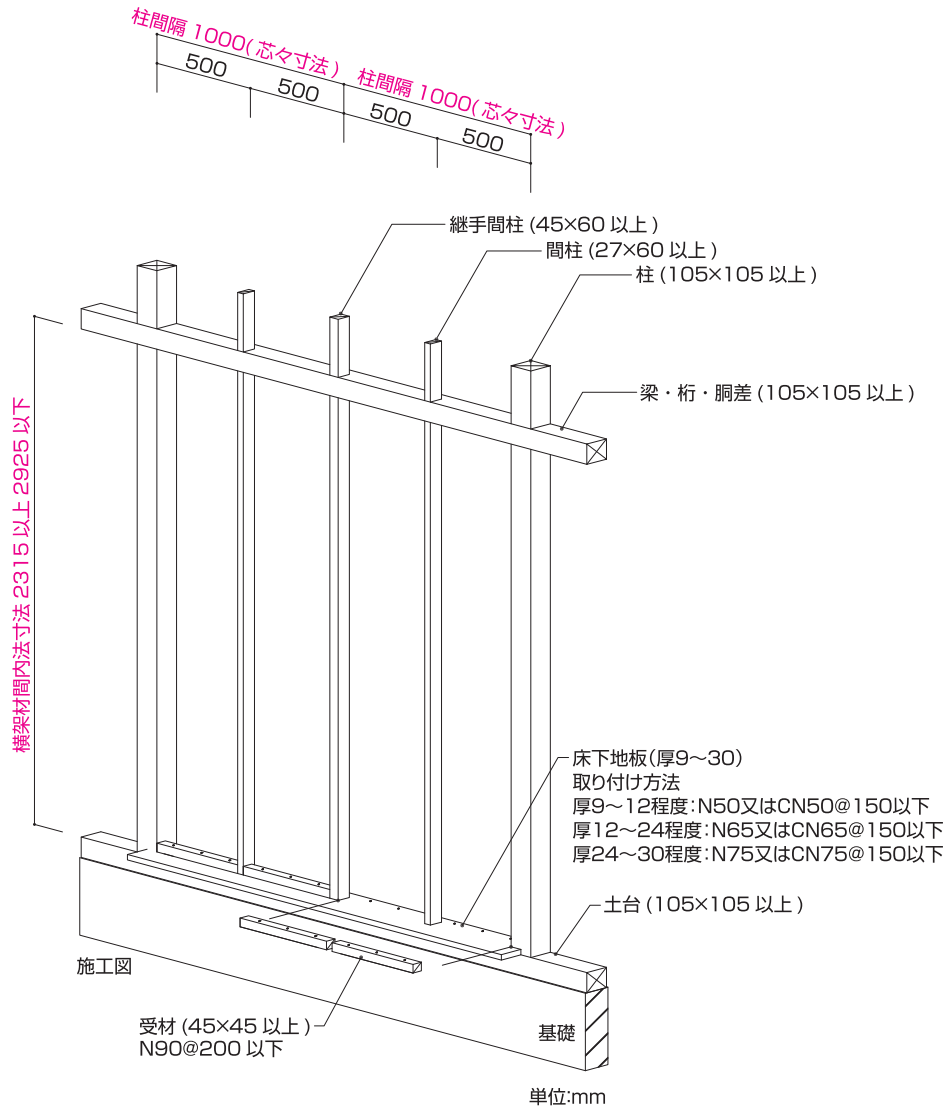
# ニチハ耐力面材『あんしん』

大壁床勝ち仕様  
壁倍率2.8  
(メーター幅限定)

認定番号	面材くぎ	くぎ間隔	縁端距離	柱、横架材	間柱	継手間柱	壁倍率
FRM-0496	N50 NZ50	外周100以下 中通200以下	15±3	105×105 以上	27×60 以上	45×60 以上	2.8

## 軸組材等の仕様

- 柱、土台、梁、胴差および桁の断面寸法は、105×105mm 以上としてください。
- 間柱の断面寸法は見付幅 27× 奥行 60mm 以上としてください。
- 『あんしん』を継ぐ間柱(以下「継手間柱」という。)の断面寸法は見付幅 45× 奥行 60mm 以上としてください。
- 受材の断面寸法は厚 45× 幅 45mm 以上としてください。
- 床下地板は、構造用合板等の木質系床下地板とし、取り付け方法は、板厚に応じて以下の方法を原則としてください。
  - ① 厚 9 ~ 12mm : N50、CN50 のいずれか @150mm 以下
  - ② 厚 12 ~ 24mm : N65、CN65 のいずれか @150mm 以下
  - ③ 厚 24 ~ 30mm : N75、CN75 のいずれか @150mm 以下
- **柱と間柱、継手間柱と間柱の間隔は 500mm(芯々寸法)としてください。**
- **上部横架材と下部横架材の内法寸法は 2,315mm 以上 2,925mm 以下としてください。**
- 受材は、柱~間柱間または継手間柱~間柱間に取り付け、留め付けには鉄丸くぎ N90(JIS A 5508:2009)を用いてください。
- 受材は、N90 又は NZ90(JIS A 5508:2009)を用い、200mm 以下の間隔で受材の幅の中央から床下地板を介して横架材に取り付けてください。なお、受材を接合するくぎと床下地板を接合するくぎは接触しない位置としてください。
- 間柱及び継手間柱の取り付けは、上部は大入れの上くぎ N75 を 2 本斜め打ち、又はほぞ差しとしてください。また、下部は床下地板に突き付けの上くぎ N75 を 2 本斜め打ちとするか、横架材に突き付け又は大入れの上、くぎ N75 を 2 本斜め打ちとしてください。



壁倍率  
大壁仕様 2.5

壁倍率  
大壁仕様 2.9

壁倍率  
大壁仕様 4.4

壁倍率  
大壁仕様 5.0

(3尺幅限定)  
大壁床勝ち仕様壁倍率 2.5

(3尺幅限定)  
大壁床勝ち仕様壁倍率 3.2

(メーター幅限定)  
大壁床勝ち仕様壁倍率 2.5

(メーター幅限定)  
大壁床勝ち仕様壁倍率 2.8

# ニチハ耐力面材『あんしん』

大壁床勝ち仕様  
壁倍率2.8  
(メーター幅限定)

認定番号	面材くぎ	くぎ間隔	縁端距離	柱、横架材	間柱	継手間柱	壁倍率
FRM-0496	N50 NZ50	外周100以下 中通200以下	15±3	105×105 以上	27×60 以上	45×60 以上	2.8

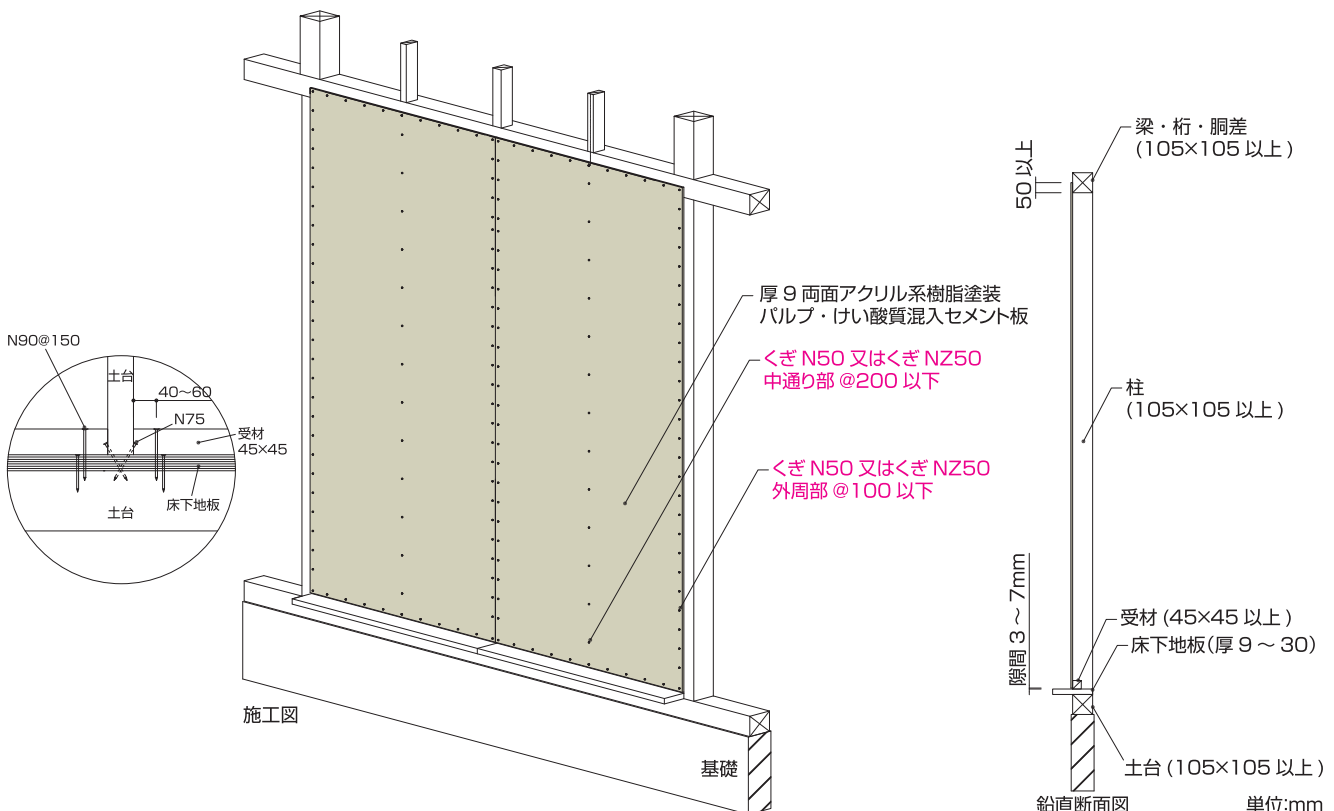
## 『あんしん』の留め付け

- 『あんしん』の表面(くぎ打ち位置印刷面)を屋外に向けて使用します。留め付けにはくぎ **N50 又は NZ50** を用い、**外周部@100mm 以下、中通り部@200mm 以下**の間隔で柱、梁、間柱及び受材等に留め付けてください。
- くぎの縁端距離(端部からのくぎ留め位置)は 15mm(±3mm)としてください。
- 面材のかかり代は、柱、梁、胴差及び桁に 50mm 以上、受材に 38mm 以上、継手間柱に 20mm 以上としてください。
- 『あんしん』端部と床下地板との間に 3～7mm の隙間を設けてください。
- くぎ打ちは、面材に表示されたくぎ打ちラインに従って行い、表示のない位置は施工時にマーキング等により表示した後にくぎ打ちしてください。
- N50 は、「商品名：FC50V8(N50)」JIS 適合品 N50 くぎ、「商品名：FCP50V8(N50)」JIS 適合品 N50 くぎ(マックス株)をお薦めします。

「FC50V8(N50)」の適合くぎ打機(マックス株)

HN-50N4 (D)	CN-565CG
HN-65N4 (D)	CN-665S2

- 必ず下地材がある部分にくぎ打ちしてください。下地材がない部分にくぎが『あんしん』を貫通するおそれがあります。
- くぎの打ち込み不足、打ち込み過ぎに注意してください。くぎ打機を使用する場合、軸組材によりくぎ頭の打ち込み深さが変わりますので、事前にくぎ打機を調整してください。(くぎを打ち込み過ぎると『あんしん』の性能が損なわれます。)



- 『あんしん』の加工及び防水紙・外壁材の施工については、P18 をご確認ください。

新築

屋外用

『あんしん』

商品特長

商品案内

設計施工資料

共通

大壁仕様 壁倍率 2.5

大壁仕様 壁倍率 2.9

大壁仕様 壁倍率 4.4

大壁仕様 壁倍率 5.0

大壁床勝ち仕様 壁倍率 2.5 (3尺幅限定)

大壁床勝ち仕様 壁倍率 3.2 (3尺幅限定)

大壁床勝ち仕様 壁倍率 2.5 (メーター幅限定)

大壁床勝ち仕様 壁倍率 2.8 (メーター幅限定)

大壁床勝ち仕様 壁倍率 2.5 (メーター幅限定)

大壁床勝ち仕様 壁倍率 2.8 (メーター幅限定)